

3. 消費生活相談窓口の認識、情報収集について

(1) 県や市町村における消費生活相談窓口の認知

【問9】

全体では①鳥取県消費生活センター、②市町村の消費生活相談窓口ともに「名前は聞いたことがあるが、業務内容までは知らない」（①50.3%、②46.8%）が最も割合が高く、次いで「相談したことはないが、名前も業務内容も知っている」（①30.9%、②25.2%）となっている。

市町村別では、①鳥取県消費生活センターについては、「三朝町」「南部町」「日南町」「日野町」を除いた全ての市町村で「名前は聞いたことがあるが、業務内容までは知らない」が最も割合が高い。

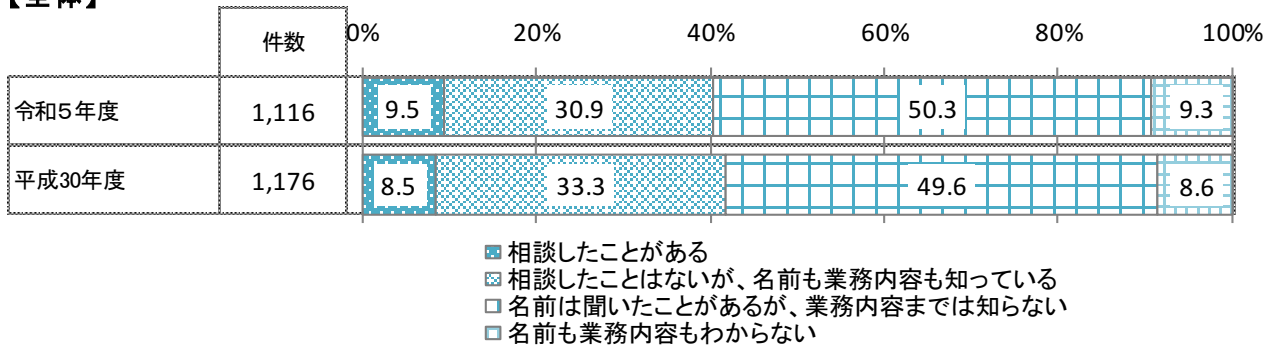
前回調査（30年度）と比較すると、「名前は聞いたことがあるが、業務内容までは知らない」が9の市町村で減少している。一方、「相談したことがある」が9の市町村で、「相談したことはないが、名前も業務内容も知っている」が7の市町村で増加している。

②市町村の消費生活相談窓口については、「八頭町」「三朝町」「湯梨浜町」「日野町」を除いた全ての市町村で「名前は聞いたことがあるが、業務内容までは知らない」が最も割合が高い。

前回調査（30年度）と比較すると、「名前は聞いたことがあるが、業務内容までは知らない」が9の市町村で減少している。また、「相談したことがある」は7の市町村で増加、「相談したことはないが、名前も業務内容も知っている」が7の市町村で増加している。

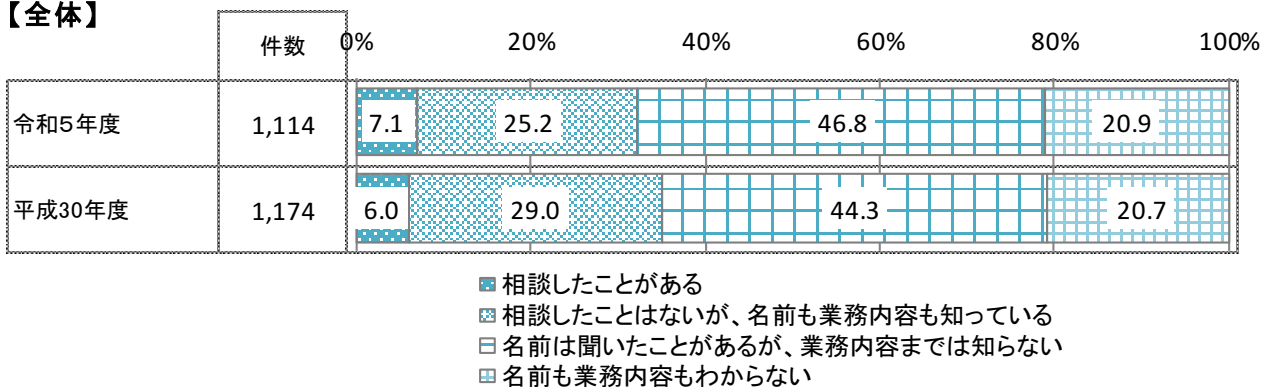
①鳥取県消費生活センター

【全体】



②市町村の消費生活相談窓口

【全体】



【市町村別】

令和5年度

①鳥取県消費生活センター

	回答件数 計	割合(%)			
		相談したことが ある	相談したことは ないが、名 前も業務内 容も知っている	名前は聞いた ことがあるが、 業務内容まで は知らない	名前も業務内 容もわからな い
全体	1,116	9.5	30.9	50.3	9.3
市町村別					
鳥取市	388	8.5	30.4	50.0	11.1
米子市	284	11.3	32.7	49.3	6.7
倉吉市	97	7.2	35.1	48.5	9.3
境港市	61	6.6	39.3	44.3	9.8
岩美町	30	10.0	23.3	60.0	6.7
若桜町	6	33.3	16.7	33.3	16.7
智頭町	10	20.0	10.0	70.0	0.0
八頭町	28	21.4	21.4	46.4	10.7
三朝町	8	12.5	37.5	25.0	25.0
湯梨浜町	36	2.8	22.2	58.3	16.7
琴浦町	31	12.9	32.3	48.4	6.5
北栄町	25	12.0	24.0	60.0	4.0
日吉津村	9	0.0	22.2	77.8	0.0
大山町	35	8.6	28.6	51.4	11.4
南部町	21	9.5	38.1	33.3	19.0
伯耆町	23	13.0	13.0	73.9	0.0
日南町	7	0.0	57.1	42.9	0.0
日野町	6	0.0	50.0	33.3	16.7
江府町	7	0.0	42.9	57.1	0.0

②市町村の消費生活相談窓口

	回答件数 計	割合(%)			
		相談したことが ある	相談したことは ないが、名 前も業務内 容も知っている	名前は聞いた ことがあるが、 業務内容まで は知らない	名前も業務内 容もわからな い
全体	1,114	7.1	25.2	46.8	20.9
市町村別					
鳥取市	388	5.7	24.7	47.9	21.6
米子市	284	12.7	27.1	48.9	11.3
倉吉市	97	11.3	30.9	42.3	15.5
境港市	61	3.3	29.5	49.2	18.0
岩美町	30	3.3	26.7	40.0	30.0
若桜町	5	0.0	40.0	40.0	20.0
智頭町	10	10.0	0.0	50.0	40.0
八頭町	28	3.6	25.0	32.1	39.3
三朝町	8	0.0	50.0	25.0	25.0
湯梨浜町	35	2.9	8.6	42.9	45.7
琴浦町	31	3.2	16.1	48.4	32.3
北栄町	25	0.0	32.0	40.0	28.0
日吉津村	9	0.0	22.2	44.4	33.3
大山町	35	2.9	11.4	45.7	40.0
南部町	21	9.5	33.3	33.3	23.8
伯耆町	23	0.0	8.7	65.2	26.1
日南町	7	0.0	28.6	57.1	14.3
日野町	6	0.0	50.0	33.3	16.7
江府町	7	0.0	28.6	71.4	0.0

平成30年度

①鳥取県消費生活センター

	回答件数 計	割合(%)			
		相談したことが ある	相談したことは ないが、名 前も業務内 容も知っている	名前は聞いた ことがあるが、 業務内容まで は知らない	名前も業務内 容もわからな い
全体	1,176	8.5	33.4	49.4	8.6
市町村別					
鳥取市	339	8.6	29.2	53.1	9.1
米子市	339	9.1	37.2	47.2	6.5
倉吉市	100	1.0	31.0	60.0	8.0
境港市	64	6.3	37.5	43.8	12.5
岩美町	23	13.0	34.8	47.8	4.3
若桜町	8	12.5	37.5	37.5	12.5
智頭町	17	0.0	17.6	47.1	35.3
八頭町	32	21.9	18.8	46.9	12.5
三朝町	12	0.0	50.0	33.3	16.7
湯梨浜町	43	2.3	44.2	41.9	11.6
琴浦町	37	8.1	32.4	54.1	5.4
北栄町	39	12.8	30.8	51.3	5.1
日吉津村	6	0.0	50.0	33.3	16.7
大山町	32	15.6	37.5	37.5	9.4
南部町	22	9.1	50.0	36.4	4.5
伯耆町	27	18.5	18.5	55.6	7.4
日南町	12	0.0	41.7	50.0	8.3
日野町	8	12.5	25.0	50.0	12.5
江府町	10	20.0	40.0	40.0	0.0

②市町村の消費生活相談窓口

	回答件数 計	割合(%)			
		相談したことが ある	相談したことは ないが、名 前も業務内 容も知っている	名前は聞いた ことがあるが、 業務内容まで は知らない	名前も業務内 容もわからな い
全体	1,174	6.0	29.2	44.3	20.5
市町村別					
鳥取市	339	5.0	27.4	48.7	18.9
米子市	337	9.8	36.5	42.1	11.6
倉吉市	100	8.0	26.0	48.0	18.0
境港市	64	4.7	31.3	32.8	31.3
岩美町	23	4.3	26.1	52.2	17.4
若桜町	8	0.0	50.0	25.0	25.0
智頭町	17	0.0	11.8	47.1	41.2
八頭町	32	6.3	15.6	37.5	40.6
三朝町	12	0.0	33.3	16.7	50.0
湯梨浜町	42	0.0	21.4	42.9	35.7
琴浦町	37	2.7	24.3	51.4	21.6
北栄町	40	5.0	27.5	45.0	22.5
日吉津村	6	0.0	33.3	50.0	16.7
大山町	32	3.1	25.0	46.9	25.0
南部町	22	0.0	31.8	45.5	22.7
伯耆町	27	7.4	14.8	33.3	44.4
日南町	12	0.0	33.3	50.0	16.7
日野町	8	0.0	12.5	25.0	62.5
江府町	10	0.0	30.0	50.0	20.0

(2)消費生活に関する情報の入手手段

【問 10】

消費生活に関する情報の入手手段としては、「テレビ」(72.9%)が最も割合が高く、次いで「インターネット」(57.0%)、「新聞・雑誌」(50.1%)となっており、ともに他の手段を大きく引き離している。

以下、「自治体の広報誌」(32.6%)「SNS (LINE、Instagram、Twitter 等)」(22.4%)が続いている。

前回調査(30年度)と比較すると、「インターネット」が11.1ポイントと大幅に増加している。

性別では、男女ともに「テレビ」の割合が最も高く、女性が男性を6.2ポイント上回っている。

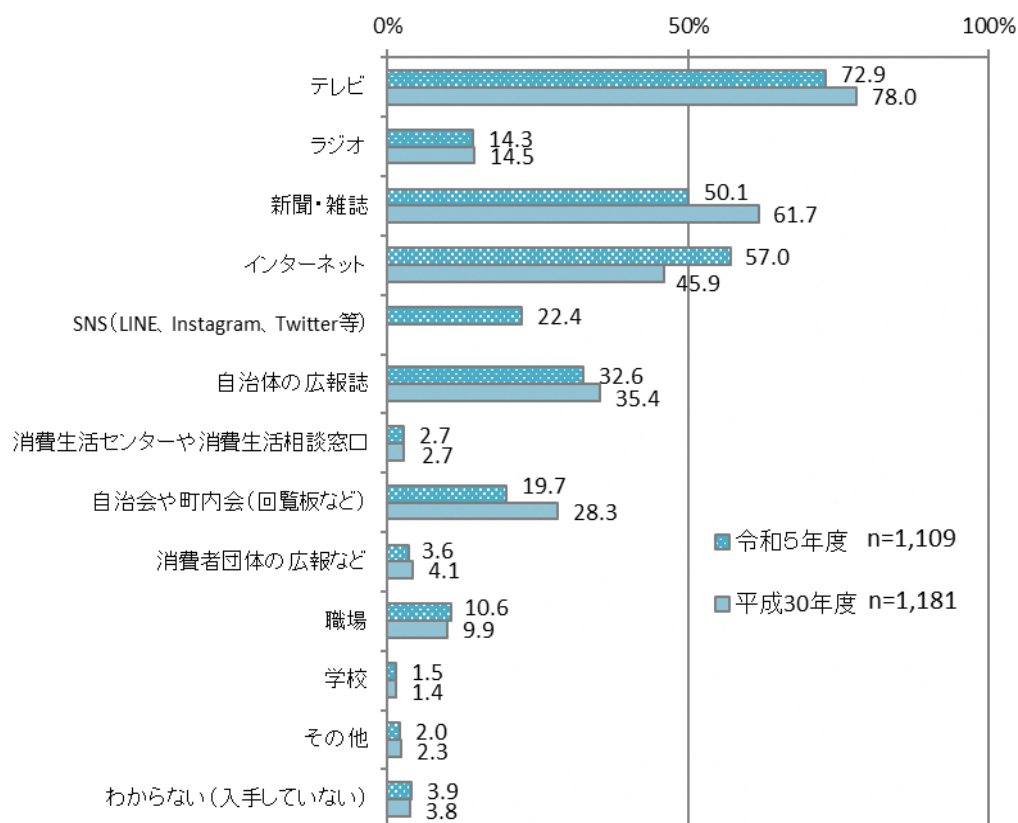
前回調査(30年度)と比較すると、男女ともに「インターネット」が増加、「新聞・雑誌」が減少している。

年齢別では、「テレビ」が65歳～74歳で8割以上、「新聞・雑誌」が60歳以上で6割以上、「自治体の広報誌」「自治会や町内会(回覧板など)」が65歳以上でそれぞれ4割以上、3割前後と高く、「インターネット」は20～40歳代で7割以上と高い。

前回調査(30年度)と比較すると、「新聞・雑誌」は70～74歳を除く年代で減少、「インターネット」が全年代で増加している。

地区別では、「テレビ」「新聞・雑誌」は東部地区が最も高い。

前回調査(30年度)と比較すると、「新聞・雑誌」が全ての地区で減少、「インターネット」が全ての地区で増加している。



令和5年度

	回答件数 計	割合(%)												
		テレビ	インターネット	新聞・雑誌	自治体の広報誌	SNS(LINE、Instagram、Twitter等)	自治会や町内会(回覧板など)	ラジオ	職場	消費者団体の広報など	消費生活センターや消費生活相談窓口	学校	その他	わからない(入手していない)
全体	1,109	72.9	57.0	50.1	32.6	22.4	19.7	14.3	10.6	3.6	2.7	1.5	2.0	3.9
性別														
男性	467	70.0	60.6	49.9	25.9	21.0	15.8	15.4	11.3	2.1	0.6	1.5	1.7	4.3
女性	600	76.2	54.0	51.2	37.7	24.0	23.3	12.5	10.3	4.3	4.5	1.5	2.3	3.7
その他:回答したくない	14	35.7	50.0	35.7	28.6	21.4	0.0	21.4	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1
年齢別														
18~19歳	21	47.6	66.7	0.0	0.0	61.9	0.0	4.8	4.8	0.0	0.0	9.5	0.0	14.3
20~29歳	89	58.4	76.4	14.6	15.7	53.9	6.7	2.2	16.9	3.4	1.1	5.6	2.2	5.6
30~39歳	131	58.0	80.9	26.7	18.3	47.3	10.7	9.2	14.5	0.8	1.5	3.1	0.0	7.6
40~49歳	167	62.9	73.1	41.3	31.1	30.5	13.8	14.4	15.0	5.4	2.4	3.6	1.2	6.0
50~59歳	205	73.2	68.3	47.8	31.7	18.5	16.6	13.2	15.1	2.4	3.9	0.0	3.4	2.9
60~64歳	122	77.0	51.6	63.1	33.6	12.3	16.4	16.4	10.7	1.6	0.8	0.0	0.8	0.8
65~69歳	141	84.4	43.3	68.1	42.6	7.8	29.8	17.7	3.5	4.3	7.1	0.0	2.8	1.4
70~74歳	171	90.1	28.1	75.4	45.6	4.1	35.1	22.2	5.3	6.4	0.6	0.0	2.9	0.0
75歳以上	60	78.3	13.3	65.0	43.3	5.0	33.3	15.0	0.0	5.0	5.0	0.0	1.7	10.0
地区別														
東部地区	462	76.6	58.7	53.2	29.4	19.9	17.7	13.4	9.5	2.4	2.8	0.9	1.9	4.3
中部地区	194	68.0	57.2	48.5	37.1	18.0	20.6	14.4	13.4	4.1	2.1	2.6	2.6	3.1
西部地区	449	71.3	54.8	48.1	33.9	26.7	21.4	15.1	10.7	4.7	2.9	1.8	1.8	3.8

平成30年度

	回答件数 計	割合(%)											
		テレビ	新聞・雑誌	インターネット	自治体の広報誌	自治会や町内会(回覧板など)	ラジオ	職場	消費者団体の広報など	消費生活センターや消費生活相談窓口	学校	その他	わからない(入手していない)
全体	1,181	78.0	61.7	45.9	35.4	28.3	14.5	9.9	4.1	2.7	1.4	2.3	3.8
性別													
男性	474	72.8	60.8	52.1	31.6	27.4	17.3	11.2	4.0	2.1	1.1	2.5	3.8
女性	678	81.7	62.7	41.6	37.9	29.1	12.5	9.1	4.3	2.9	1.6	2.2	3.8
年齢別													
20~29歳	110	68.2	35.5	72.7	10.0	5.5	6.4	14.5	1.8	0.9	6.4	3.6	5.5
30~39歳	127	66.9	39.4	75.6	23.6	18.9	4.7	15.0	3.9	0.8	2.4	3.1	6.3
40~49歳	161	72.0	55.9	69.6	31.7	19.9	16.8	18.6	3.1	4.3	2.5	1.9	4.3
50~59歳	177	77.4	65.0	57.1	32.2	21.5	11.3	14.1	2.3	2.3	1.1	1.1	6.2
60~64歳	171	79.5	69.6	35.7	39.8	30.4	17.0	7.6	0.6	2.9	0.0	4.1	2.9
65~69歳	199	83.9	76.9	25.1	51.8	35.7	17.6	5.5	8.5	3.5	0.0	1.0	0.5
70~74歳	185	89.2	67.6	16.8	41.6	48.1	18.9	1.1	4.9	2.7	0.0	2.7	3.2
75歳以上	34	76.5	82.4	8.8	41.2	50.0	23.5	0.0	14.7	2.9	0.0	0.0	0.0
地区別													
東部地区	415	76.6	59.8	46.3	30.4	24.1	8.4	10.8	4.3	1.4	1.2	2.2	4.3
中部地区	230	80.4	62.2	47.8	40.4	22.6	17.8	10.0	5.2	3.0	1.3	2.2	4.3
西部地区	518	77.8	63.3	44.8	36.9	34.0	17.6	9.3	3.5	3.5	1.5	2.5	3.1

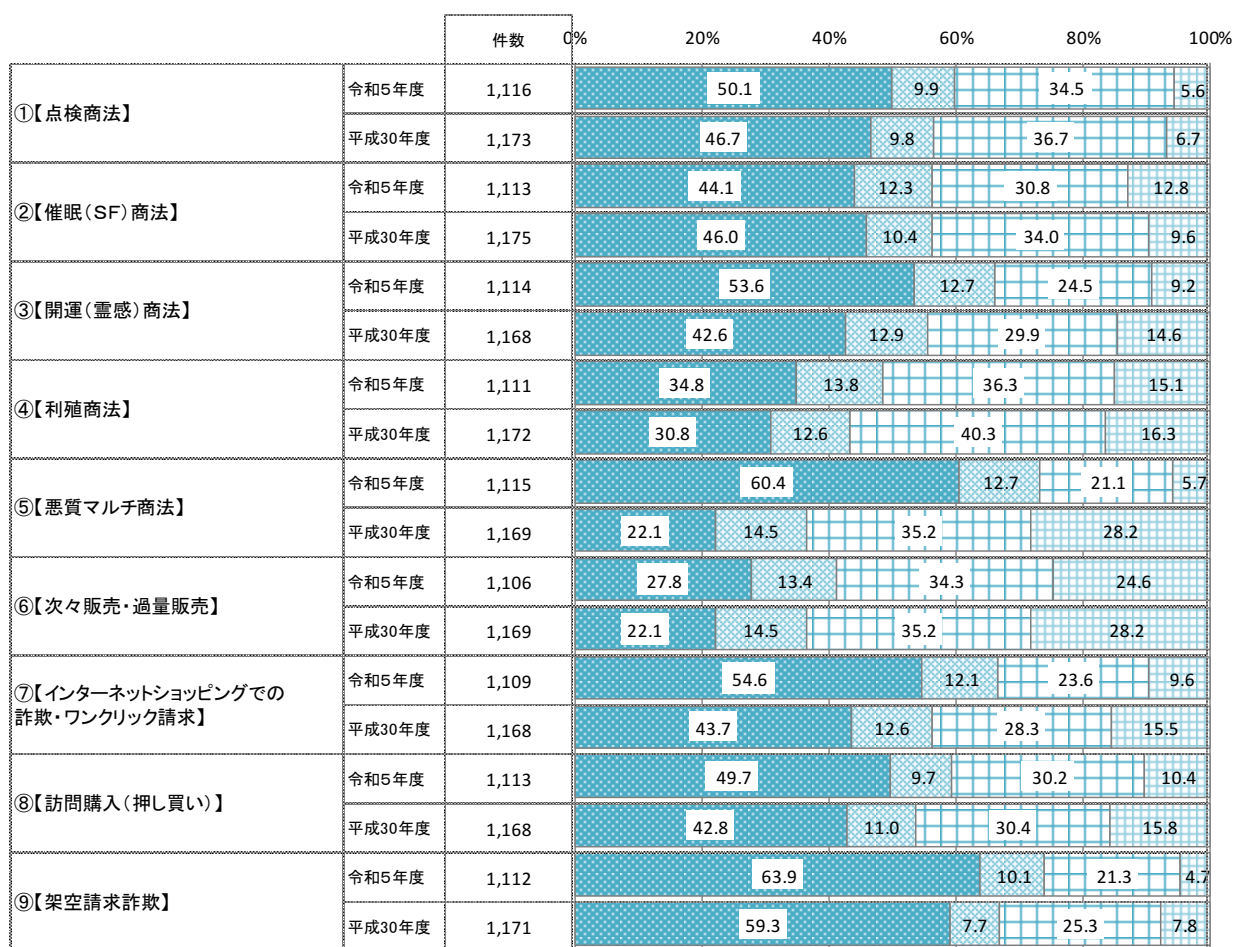
4. 消費者被害の状況について

(1) 悪質商法などについての認知

【問 11】

「④【利殖商法】」「⑥【次々販売・過量販売】」を除く全ての悪質商法について、「名前も内容も知っている」が最も高い割合を占めており、次いで「名前は知らないが内容は知っている」となっている。「④【利殖方法】」「⑥【次々販売・適量販売】」については、「名前は知らないが内容は知っている」が最も割合が高くなっている。

前回調査（30年度）と比較すると、「③【開運（靈感）商法】」「⑦【インターネットショッピングでの詐欺・ワンクリック請求】」は「名前も内容も知っている」が10ポイント以上増加している。



- 名前も内容も知っている
- 名前は知っているが内容は知らない
- 名前は知らないが内容は知っている
- 名前も内容も知らない

①【点検商法】

全体では「名前も内容も知っている」(50.1%)が最も割合が高く、次いで「名前は知らないが内容は知っている」(34.5%)となっている。

前回調査(30年度)と比較すると、「名前も内容も知っている」が3.4ポイント増加している。

性別では、男女ともに「名前も内容も知っている」の割合が最も高い。「名前は知らないが内容は知っている」が、女性が男性を11.5ポイント上回っている。

前回調査(30年度)と比較すると、「名前も内容も知っている」が男性は1.9ポイント、女性は3.7ポイント増加している。

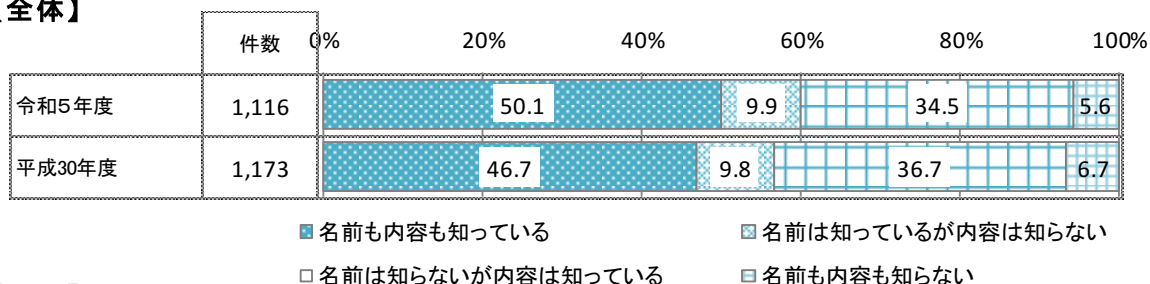
年齢別では、18~19歳、65~69歳を除く全ての年齢層で「名前も内容も知っている」が最も割合が高い。18~19歳、65~69歳では「名前は知らないが内容は知っている」が最も割合が高い。

前回調査(30年度)と比較すると、「名前も内容も知っている」が20歳代、40歳代、50歳代、60~64歳、70~74歳、75歳以上で増加している。

地区別では、中部地区では「名前も内容も知っている」が他の地区に比べ低い。

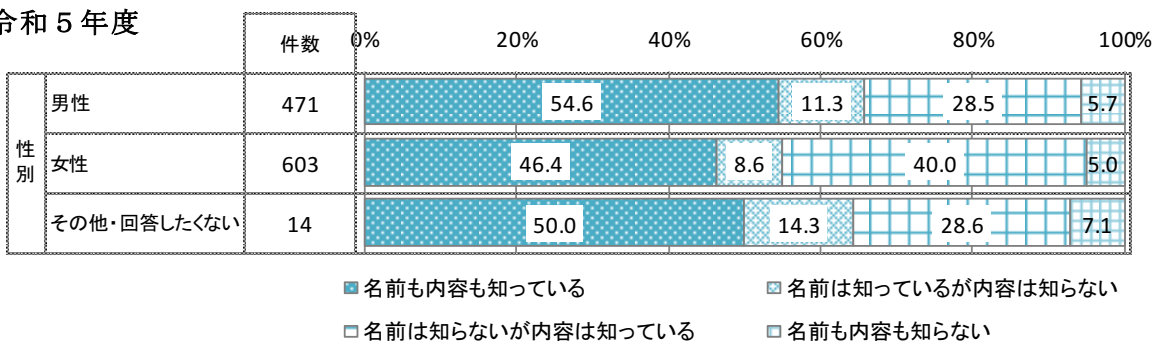
前回調査(30年度)と比較すると、東部地区と西部地区で「名前も内容も知っている」が増加している。

【全体】

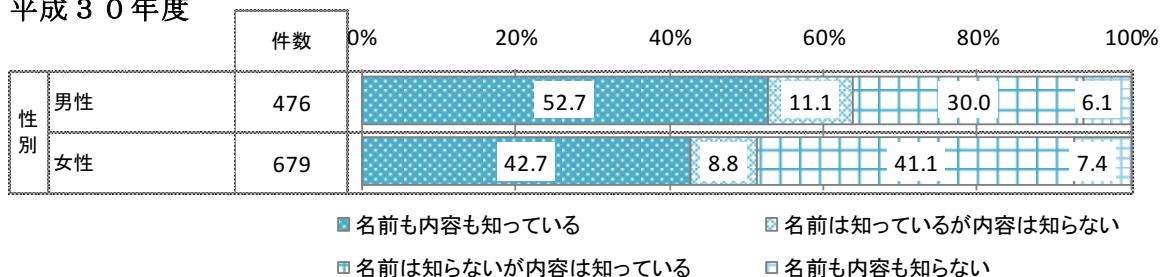


【性別】

令和5年度

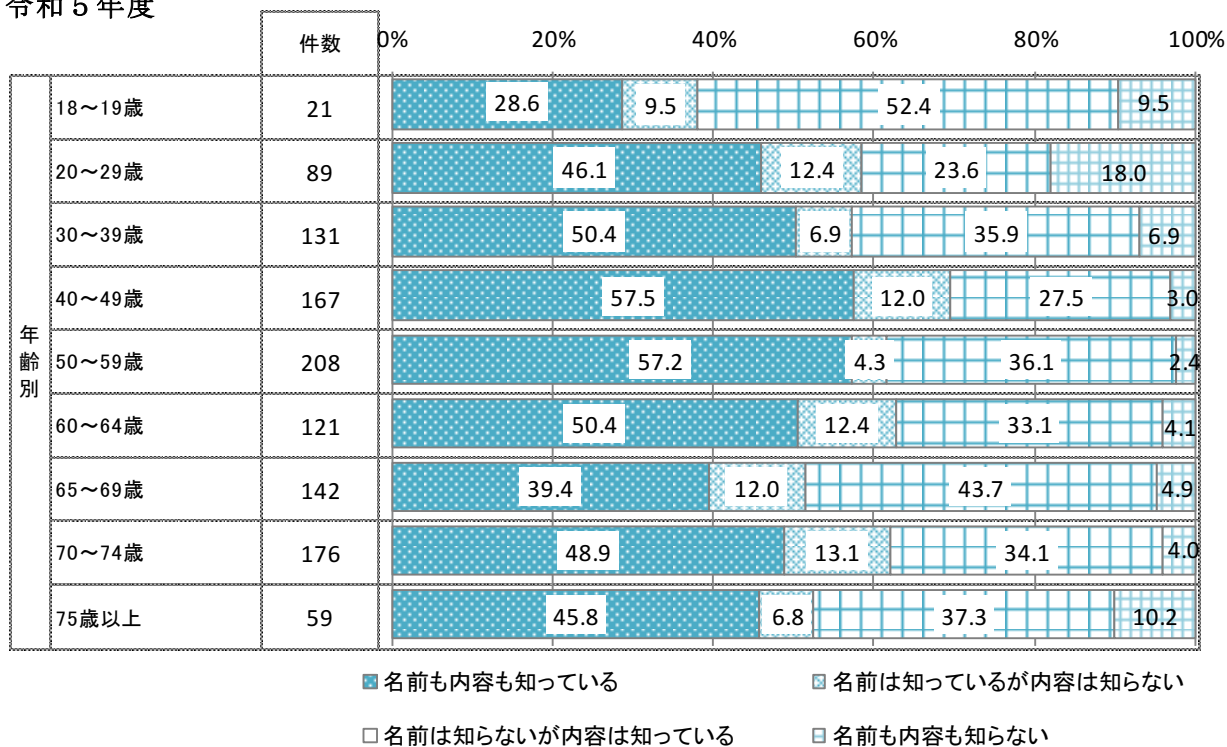


平成30年度

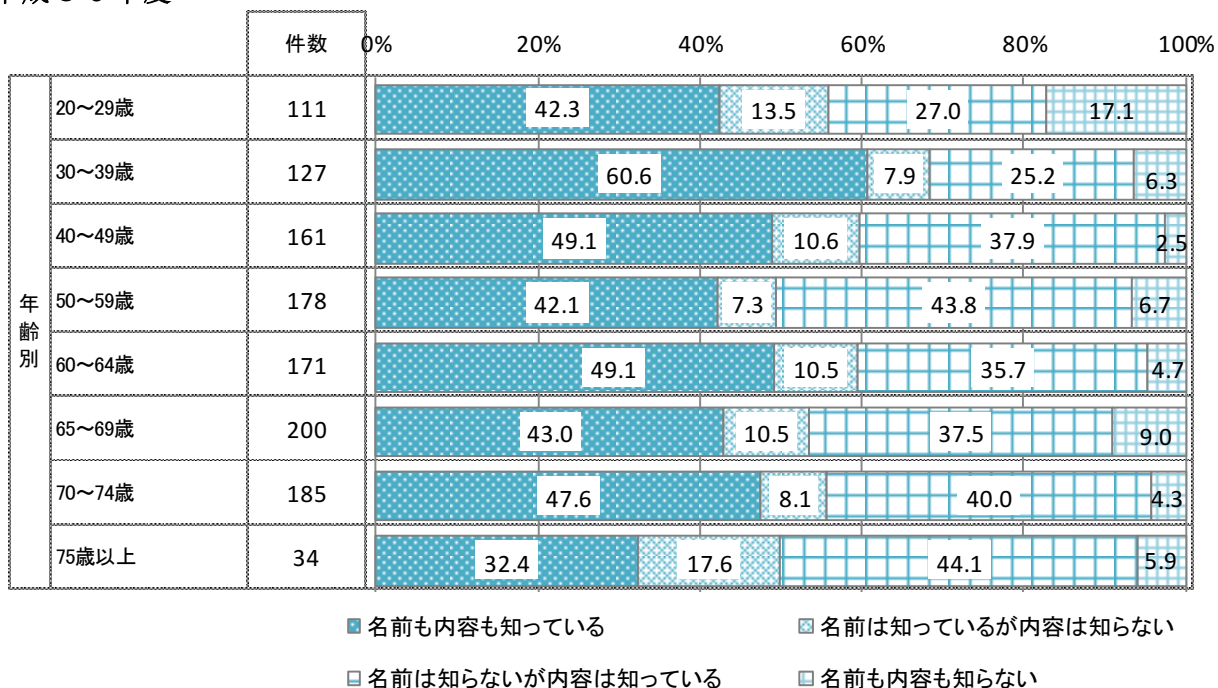


【年齢別】

令和5年度

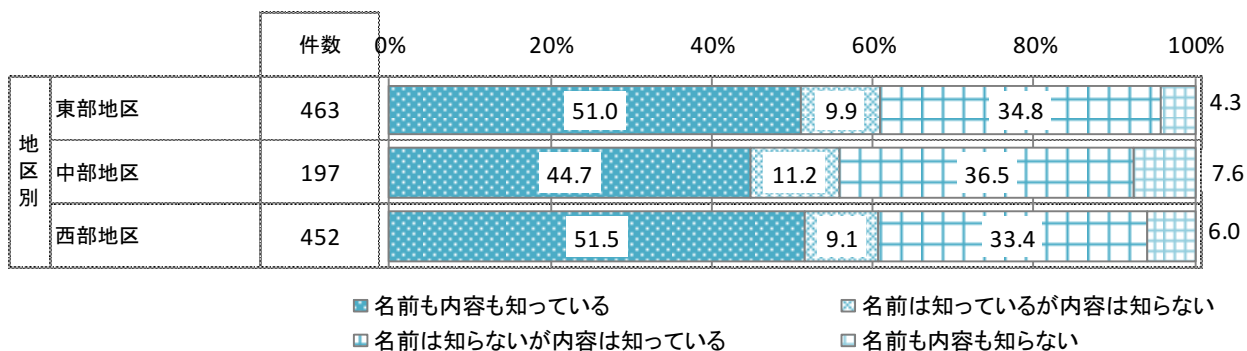


平成30年度

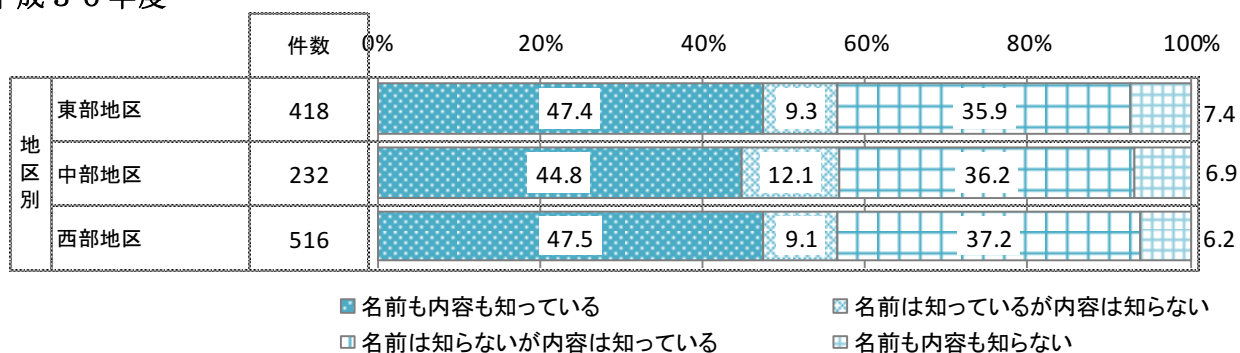


【地区別】

令和5年度



平成30年度



②【催眠(SF)商法】

全体では「名前も内容も知っている」(44.1%)が最も割合が高く、次いで「名前は知らないが内容は知っている」(30.8%)となっている。

前回調査(30年度)と比較すると、「名前も内容も知らない」が3.2ポイント増加している。

性別では、男女ともに「名前も内容も知っている」の割合が最も高く、女性が男性を0.5ポイント上回っている。

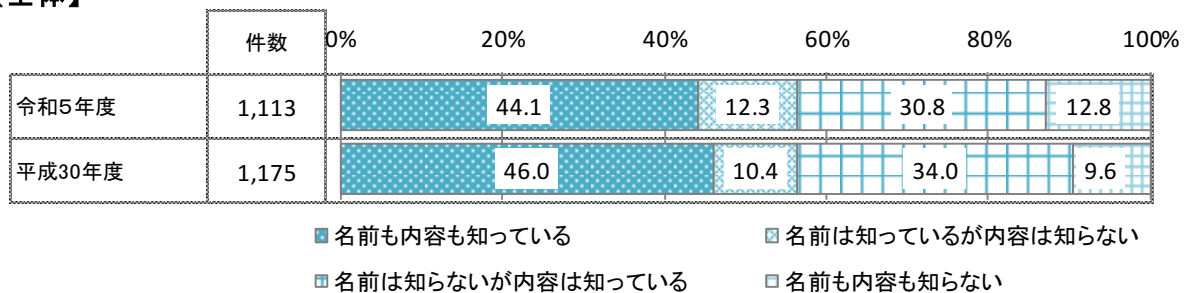
前回調査(30年度)と比較すると、男性は「名前も内容も知っている」が4.4ポイント減少、女性は「名前は知らないが内容は知っている」が4.0ポイント減少している。

年齢別では、30歳以上で「名前も内容も知っている」の割合が最も高い。

前回調査(30年度)と比較すると、50歳代、75歳以上で「名前も内容も知っている」が増加している。

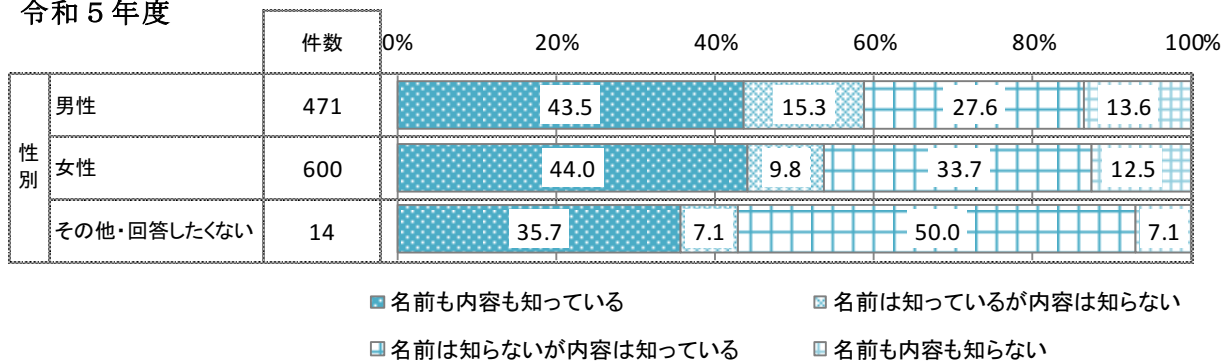
地区別では、中部地区で「名前も内容も知っている」が他の地区に比べて割合が低い。前回調査(30年度)と比較すると、中部地区で「名前も内容も知っている」が大幅に減少している。

【全体】

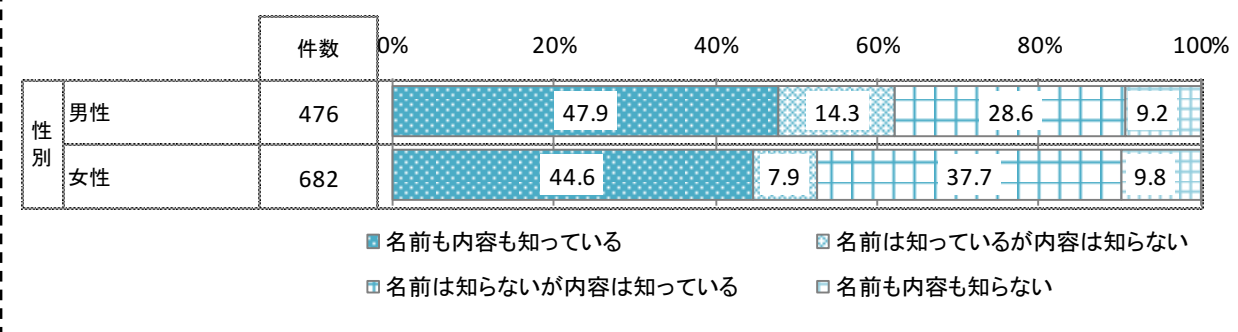


【性別】

令和5年度

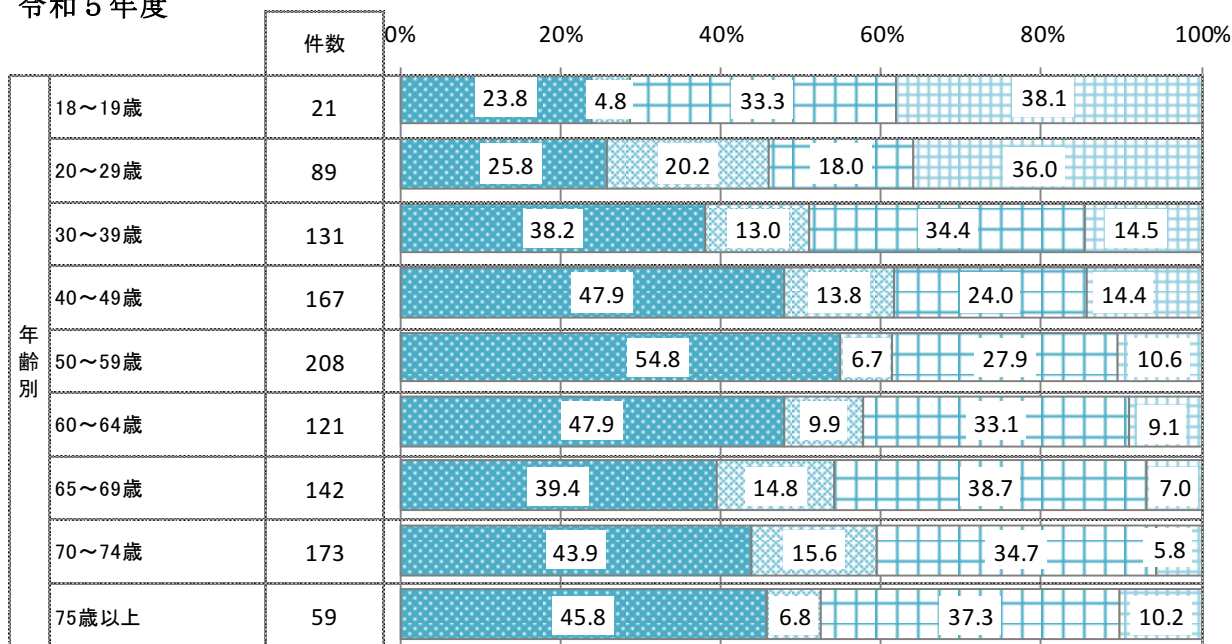


平成30年度



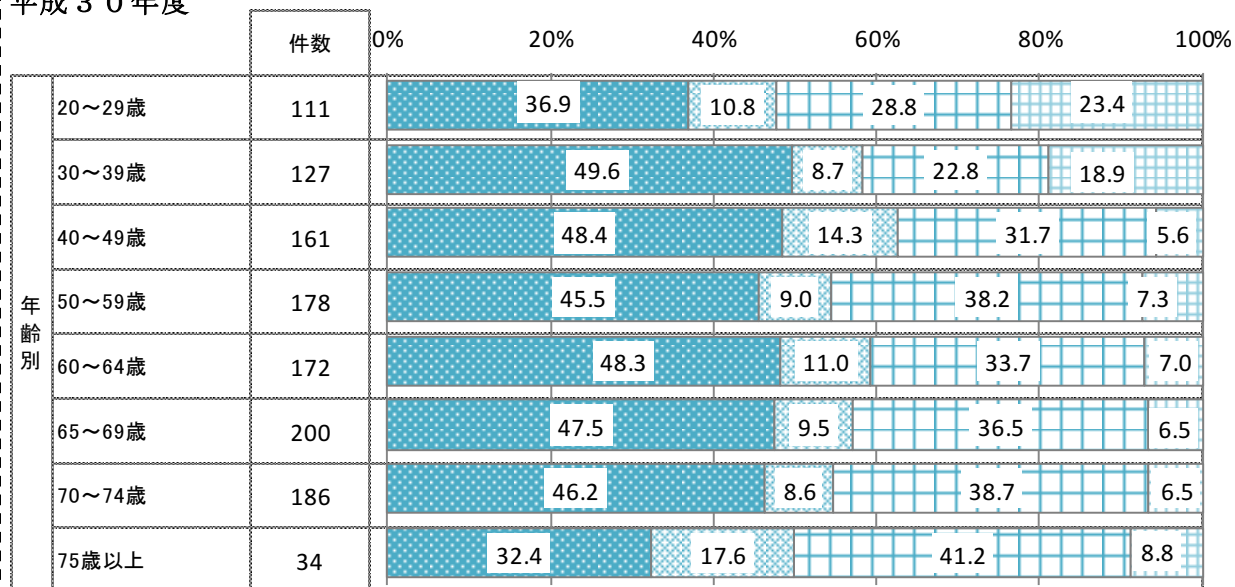
【年齢別】

令和5年度



- 名前も内容も知っている
- 名前は知っているが内容は知らない
- 名前は知らないが内容は知っている
- 名前も内容も知らない

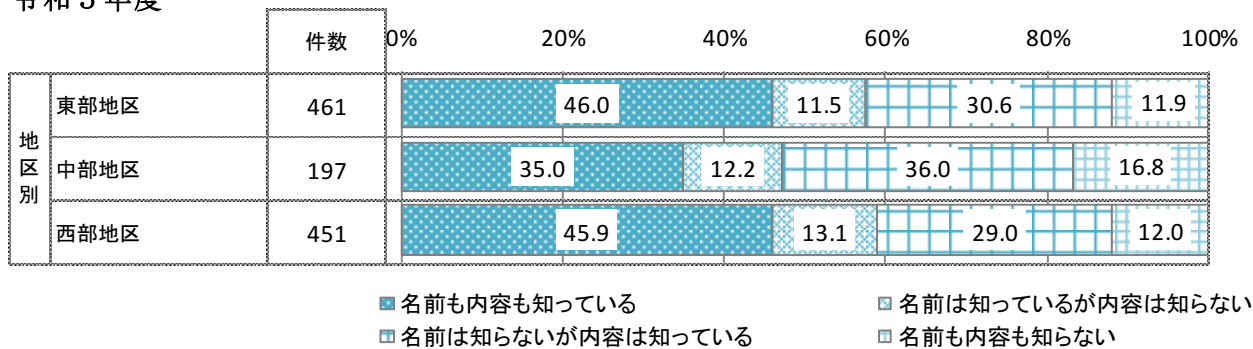
平成30年度



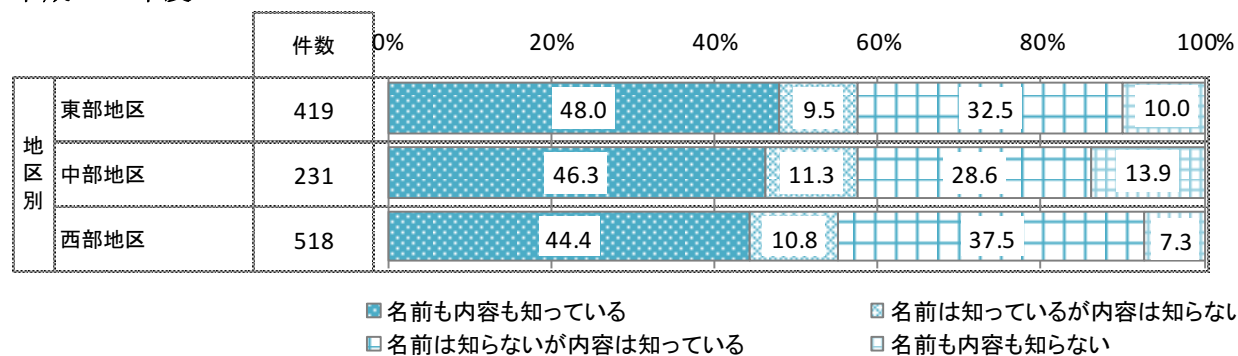
- 名前も内容も知っている
- 名前は知っているが内容は知らない
- 名前は知らないが内容は知っている
- 名前も内容も知らない

【地区別】

令和5年度



平成30年度



③【開運(靈感)商法】

全体では「名前も内容も知っている」(53.6%)が最も割合が高く、次いで「名前は知らないが内容は知っている」(24.5%)となっている。

前回調査(30年度)と比較すると、「名前も内容も知っている」が11.0ポイント増加した。

性別では、男女ともに「名前も内容も知っている」の割合が最も高く、男性が女性を2.4ポイント上回っている。

前回調査(30年度)と比較すると、男女ともに「名前も内容も知っている」が増加している。

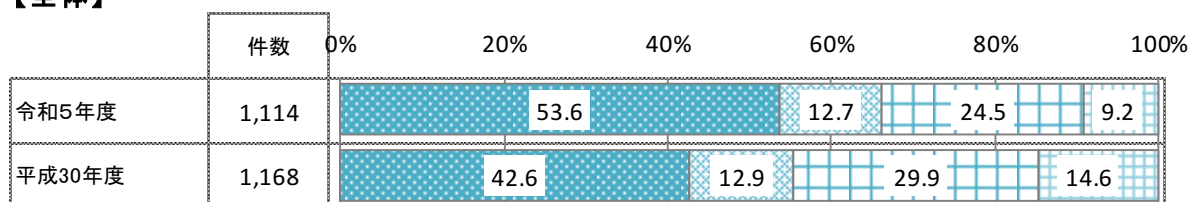
年齢別では、30~50歳代で「名前も内容も知っている」が6割を超えるが、18~19歳、65歳以上では5割を下回っている。

前回調査(30年度)と比較すると、75歳以上で「名前も内容も知っている」が大幅に増加している。

地区別では、中部地区で「名前も内容も知っている」が他の地区に比べて低い。

前回調査(30年度)と比較すると、どの地区でも「名前も内容も知っている」が増加している。

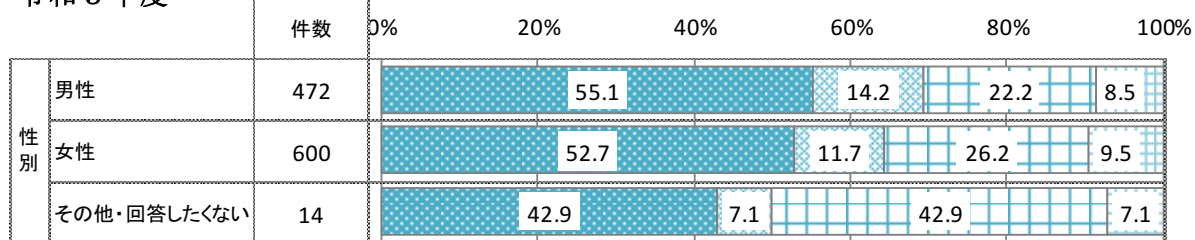
【全体】



- 名前も内容も知っている
- 名前は知っているが内容は知らない
- 名前は知らないが内容は知っている
- 名前も内容も知らない

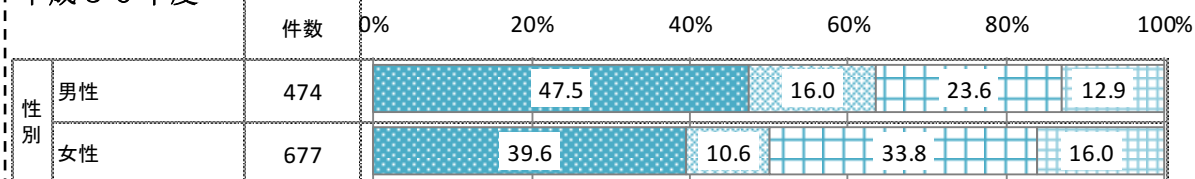
【性別】

令和5年度



- 名前も内容も知っている
- 名前は知っているが内容は知らない
- 名前は知らないが内容は知っている
- 名前も内容も知らない

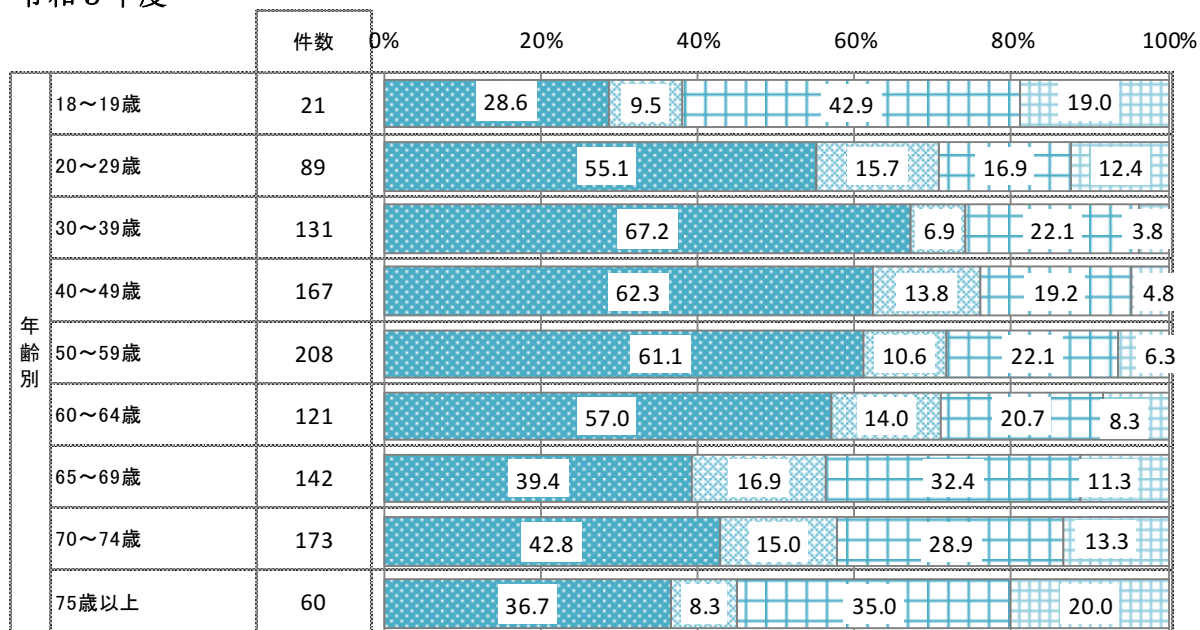
平成30年度



- 名前も内容も知っている
- 名前は知っているが内容は知らない
- 名前は知らないが内容は知っている
- 名前も内容も知らない

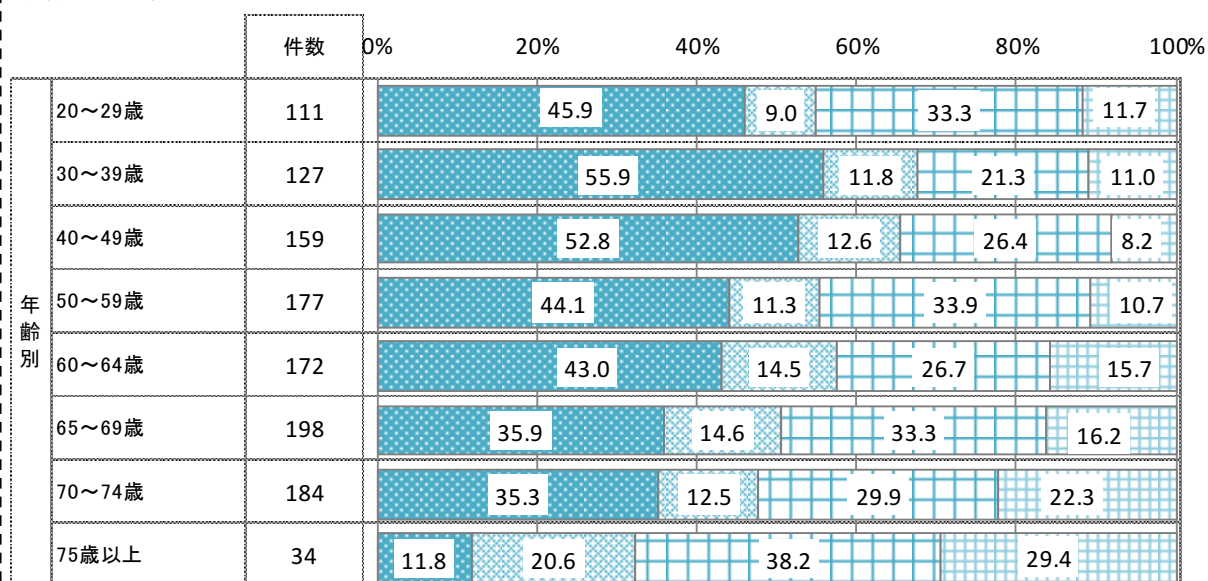
【年齢別】

令和5年度



- 名前も内容も知っている
- 名前は知っているが内容は知らない
- 名前は知らないが内容は知っている
- 名前も内容も知らない

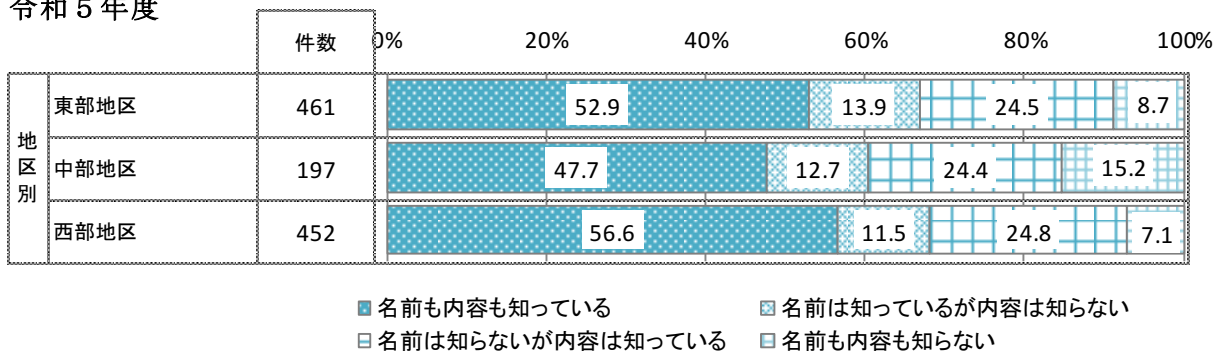
平成30年度



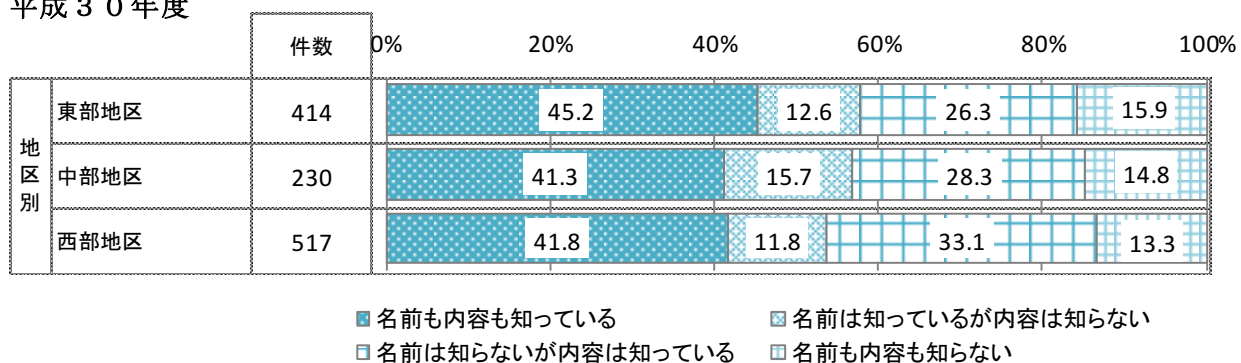
- 名前も内容も知っている
- 名前は知っているが内容は知らない
- 名前は知らないが内容は知っている
- 名前も内容も知らない

【地区別】

令和5年度



平成30年度



④【利殖商法】

全体では「名前は知らないが内容は知っている」(36.3%)が最も割合が高く、次いで「名前も内容も知っている」(34.8%)となっている。

前回調査(30年度)と比較すると、「名前も内容も知っている」が4.0ポイント増加している。

性別では、男性では「名前も内容も知っている」、女性では「名前は知らないが内容は知っている」が最も割合が高い。

前回調査(30年度)と比較すると、男女ともに「名前も内容も知っている」、「名前は知っているが内容は知らない」が増加している。

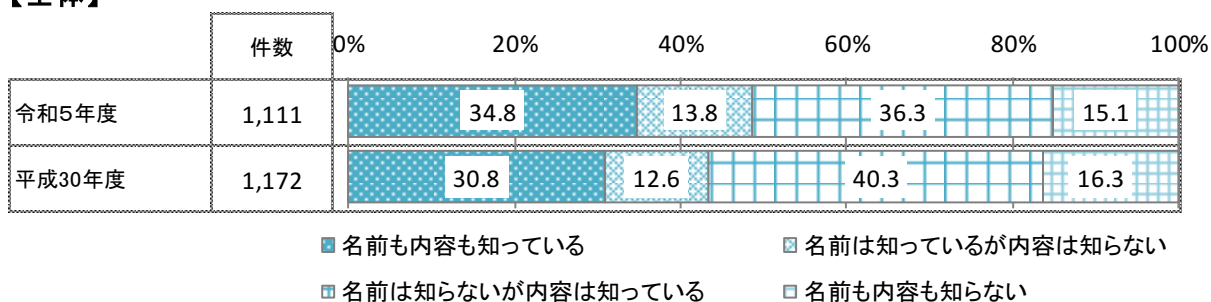
年齢別では、20～49歳で「名前も内容も知っている」が最も割合が高い。18～19歳、50歳以上では「名前は知らないが内容は知っている」が最も割合が高い。

前回調査(30年度)と比較すると、20～64歳、70歳以上で「名前も内容も知っている」が増加している。

地区別では、西部地区で「名前も内容も知っている」が他の地区に比べて割合が高い。

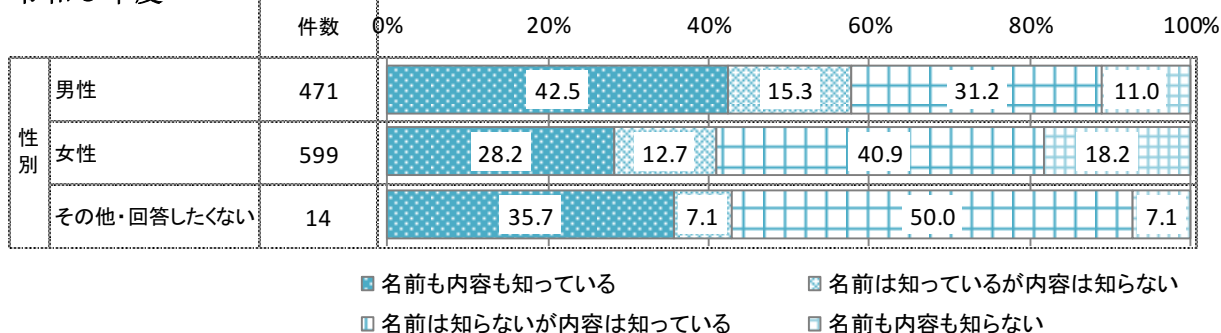
前回調査(30年度)と比較すると、全ての地区で「名前も内容も知っている」が増加している。

【全体】

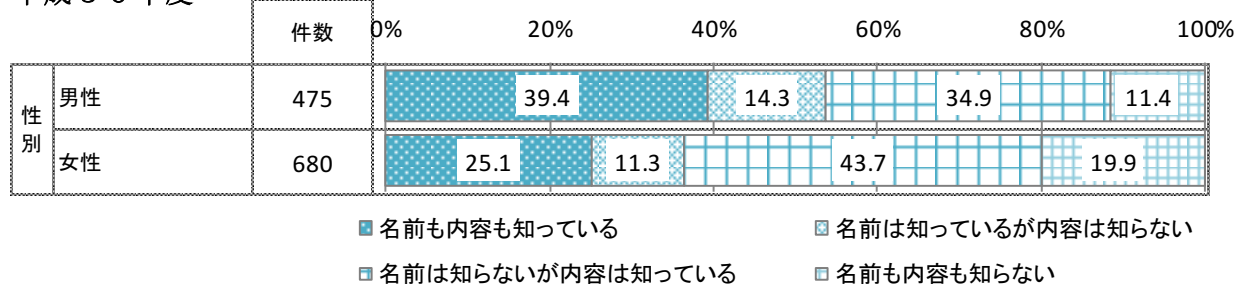


【性別】

令和5年度

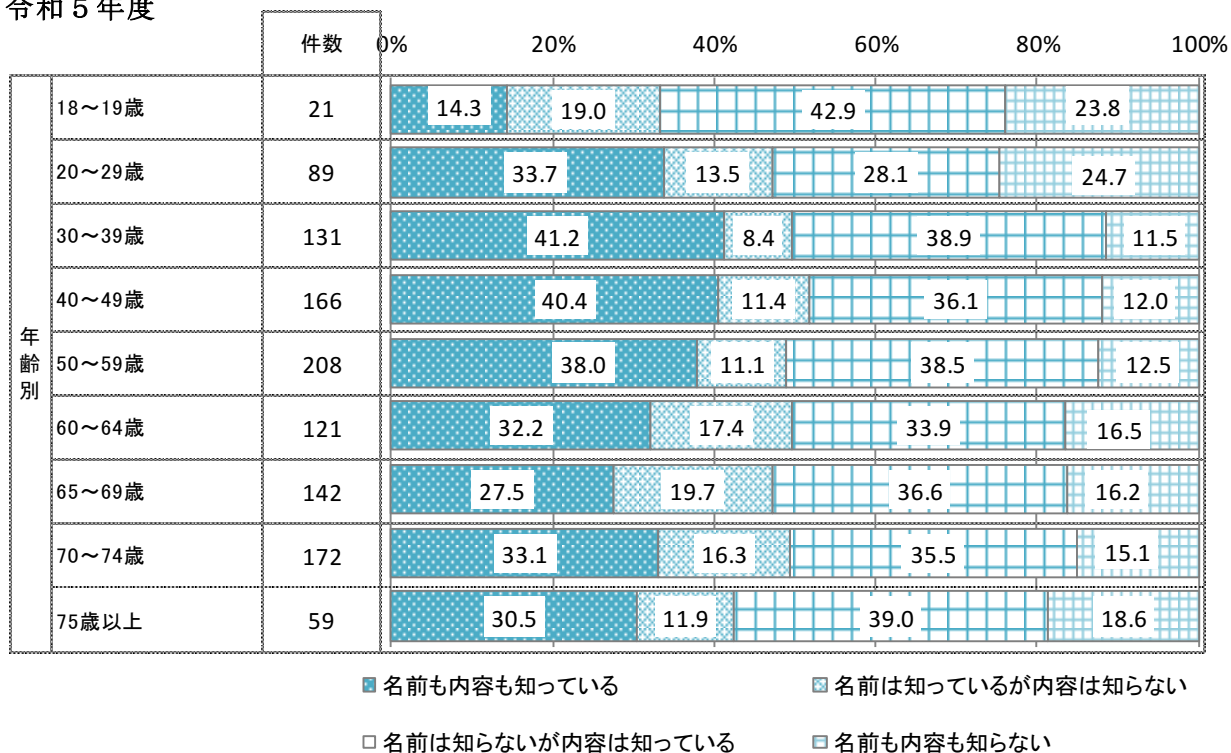


平成30年度

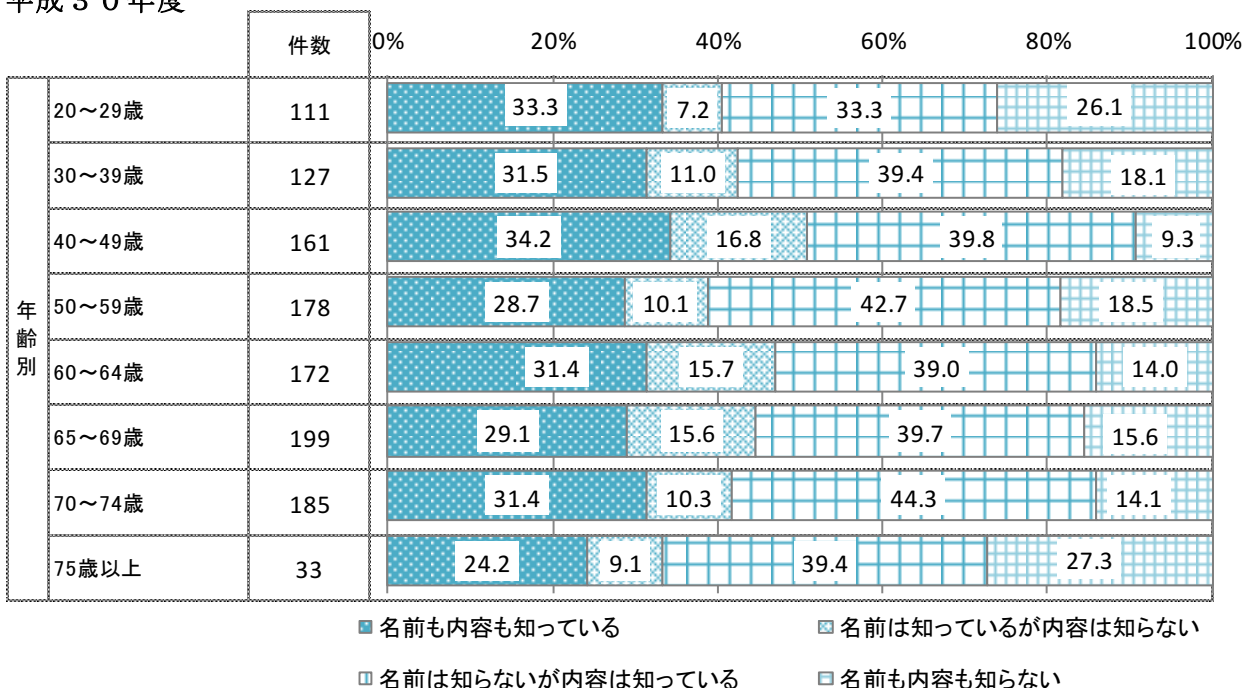


【年齢別】

令和5年度

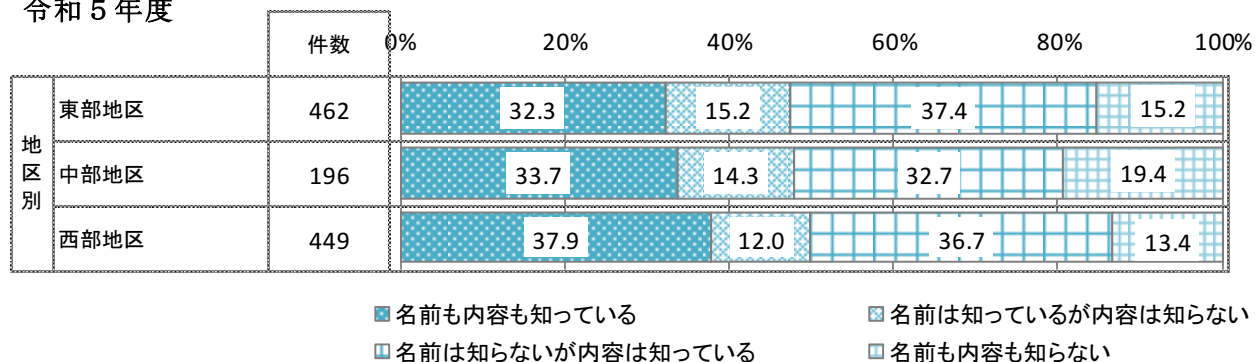


平成30年度

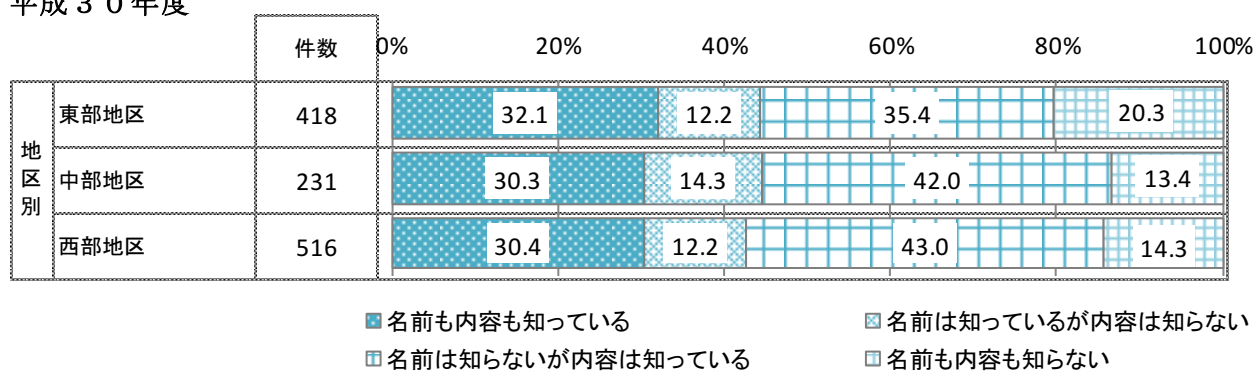


【地区別】

令和5年度



平成30年度



⑤【悪質マルチ商法】

全体では「名前も内容も知っている」(60.4%)が最も割合が高く、次いで「名前は知らないが内容は知っている」(21.1%)となっている。

前回調査(30年度)と比較すると、「名前も内容も知っている」が8.7ポイント増加している。

性別では、男女ともに「名前も内容も知っている」が最も割合が高い。「名前は知らないが内容は知っている」は、女性が男性を3.9ポイント上回っている。

前回調査(30年度)と比較すると、男女ともに「名前も内容も知っている」が増加している。

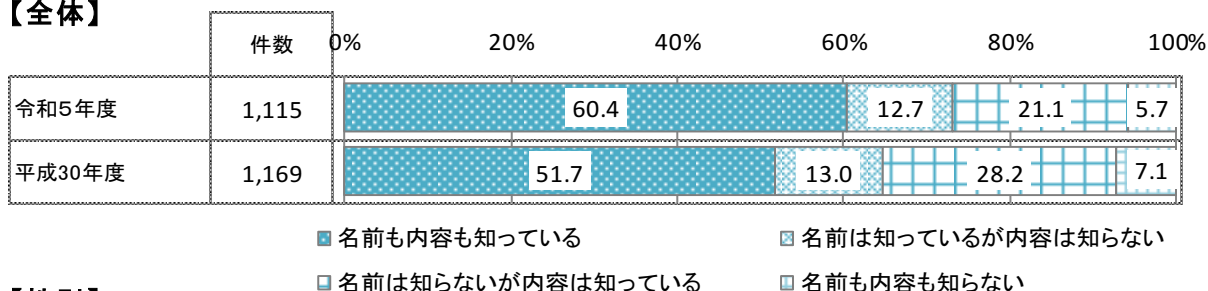
年齢別では、20～64歳では「名前も内容も知っている」が6割以上を占めるが、18～19歳、65歳以上では5割を下回っている。

前回調査(30年度)と比較すると、全世代で「名前も内容も知っている」が増加している。

地区別では、全ての地区で「名前も内容も知っている」が最も割合が高く、5割以上となっている。

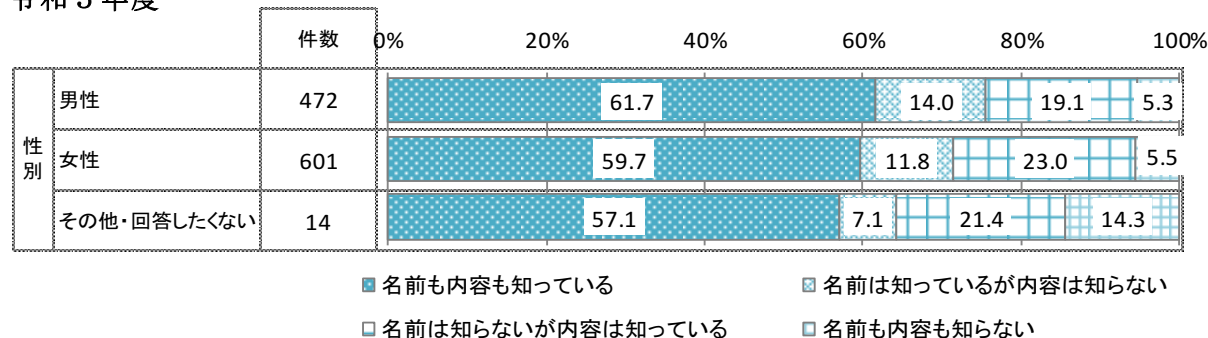
前回調査(30年度)と比較すると、西部地区で「名前も内容も知っている」が大幅に増加している。

【全体】

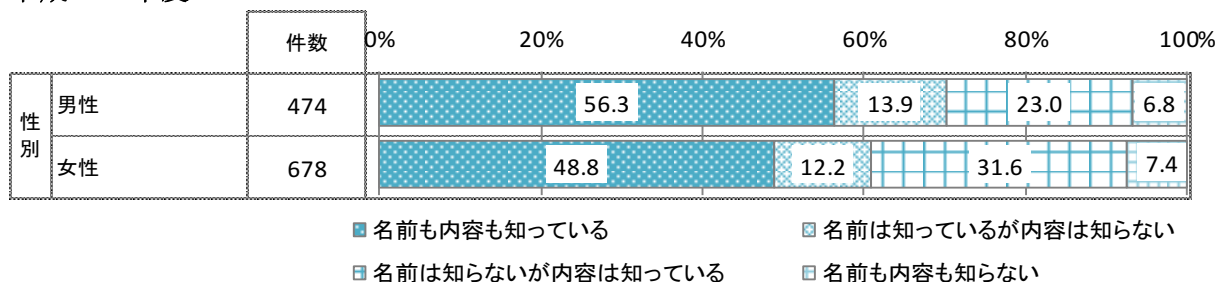


【性別】

令和5年度

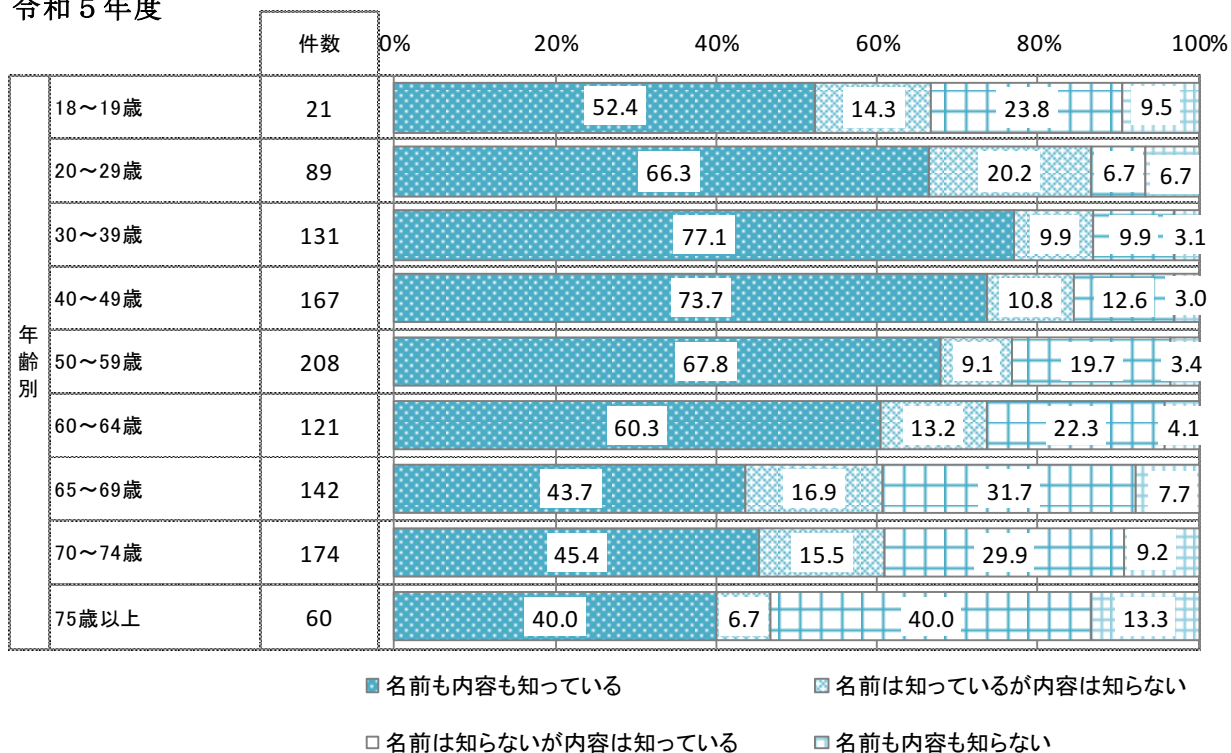


平成30年度

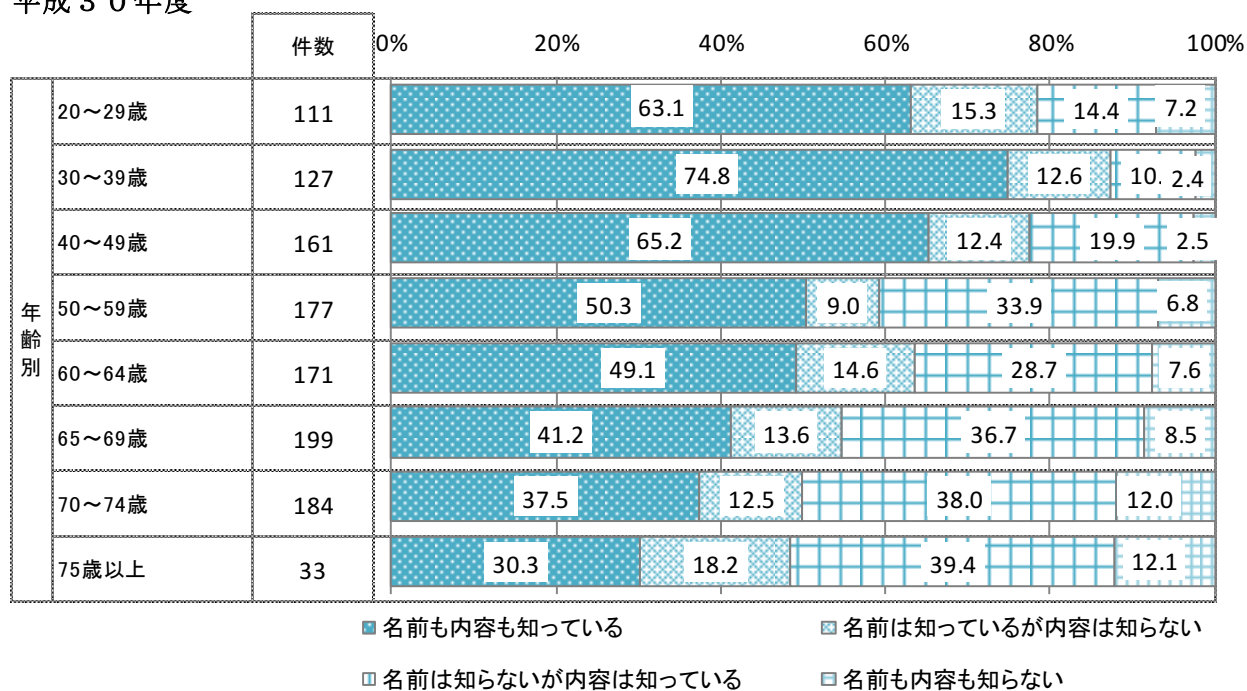


【年齢別】

令和5年度

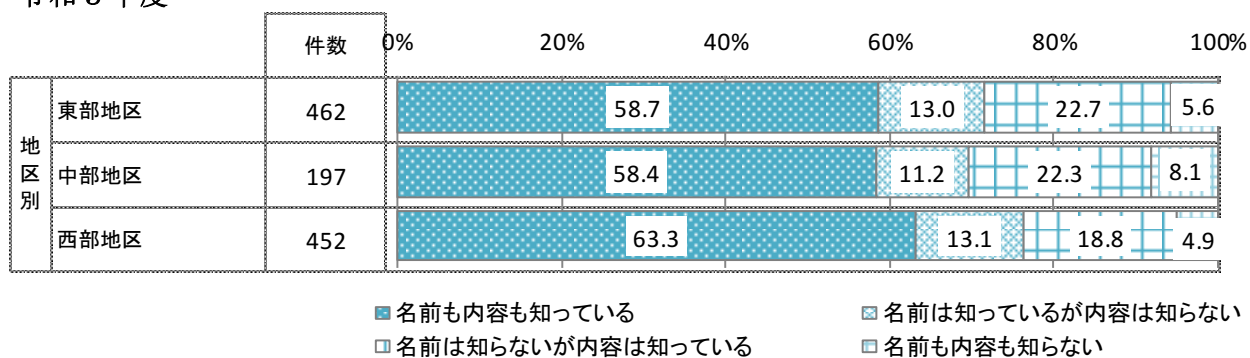


平成30年度

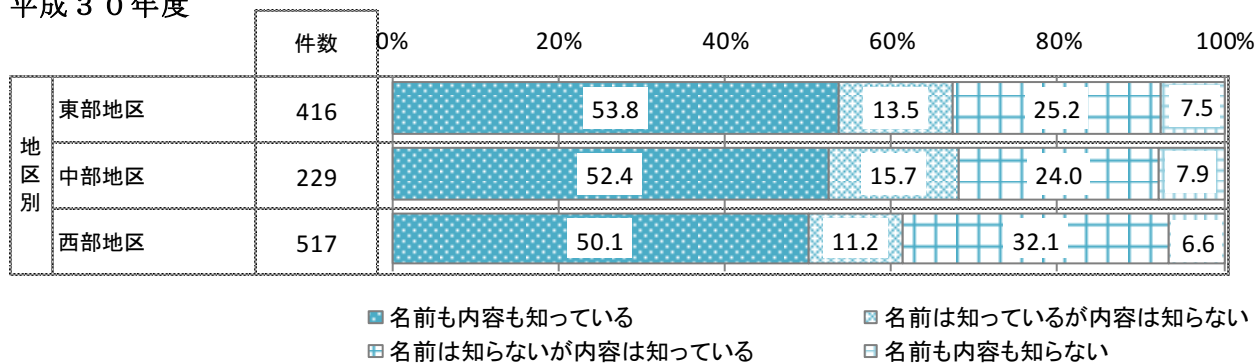


【地区別】

令和5年度



平成30年度



⑥【次々販売・過量販売】

全体では「名前は知らないが内容は知っている」(34.3%)と最も割合が高く、次いで「名前も内容も知っている」(27.8%)となっている。

前回調査(30年度)と比較すると、「名前も内容も知っている」が5.7ポイント増加している。

性別では、男女ともに「名前は知らないが内容は知っている」が最も割合が高く、女性が男性を5.7ポイント上回っている。「名前も内容も知っている」では、男性が女性を3.6ポイント上回っている。

前回調査(30年度)と比較すると、「名前も内容も知っている」が男性は2.6ポイント、女性は6.9ポイント増加している。

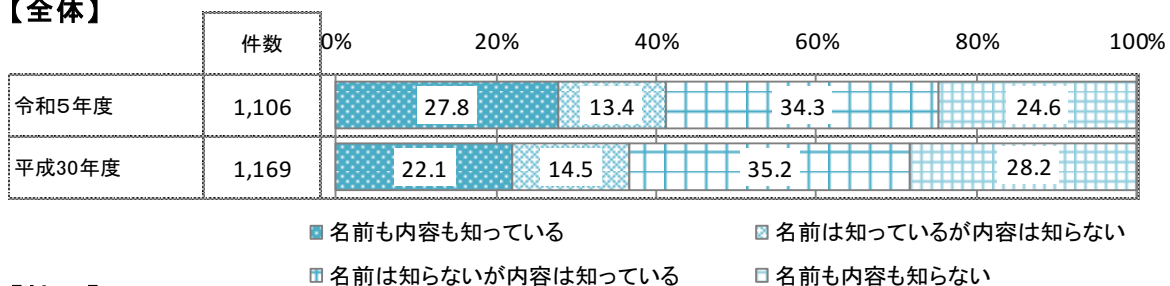
年齢別では、30歳代、50歳以上で「名前は知らないが内容は知っている」が最も高い。また、18~29歳では「名前も内容も知らない」が最も高い。

前回調査(30年度)と比較すると、50歳代、75歳以上で「名前も内容も知っている」が大幅に増加している。

地区別では、全地区において「名前は知らないが内容は知っている」の割合が最も高い。また、東部地区では「名前も内容も知らない」が他の地区に比べて割合が高い。

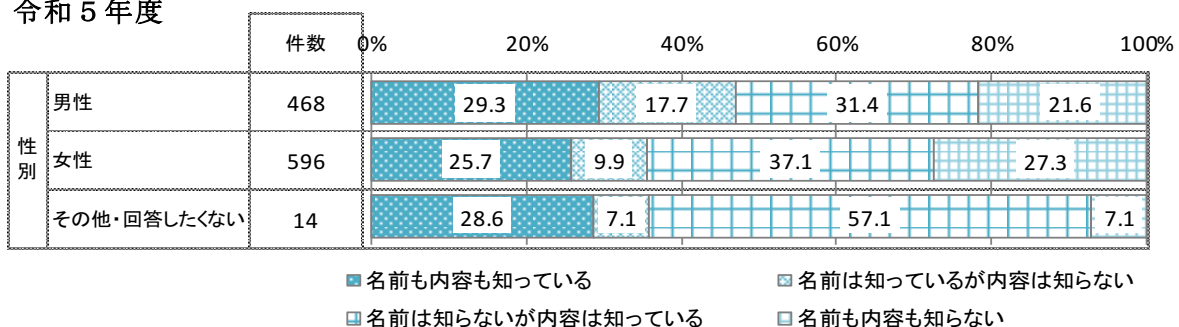
前回調査(30年度)と比較すると、西部地区で「名前も内容も知っている」が大幅に増加している。

【全体】

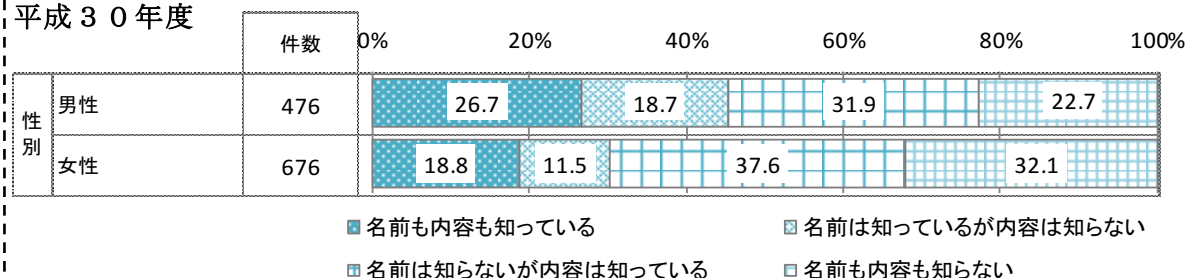


【性別】

令和5年度

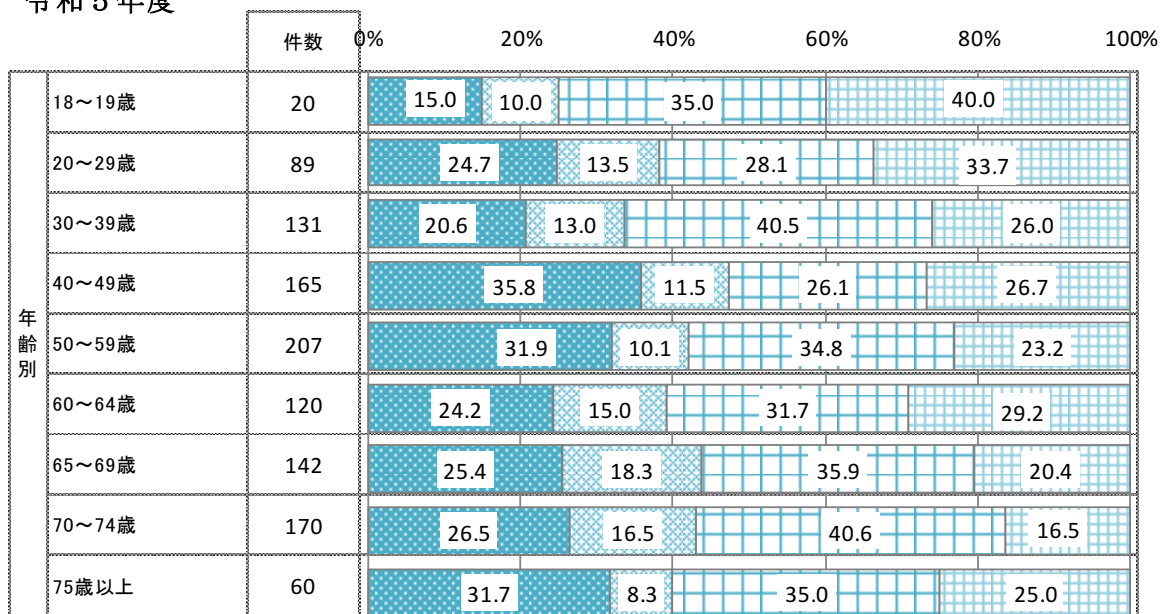


平成30年度



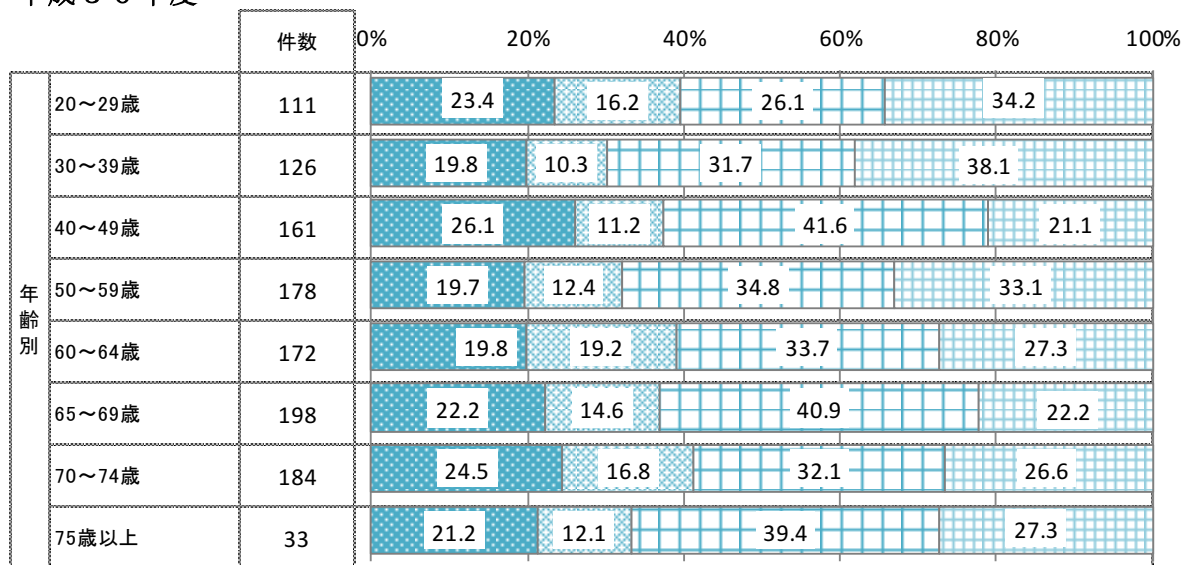
【年齢別】

令和5年度



- 名前も内容も知っている
- 名前は知っているが内容は知らない
- 名前は知らないが内容は知っている
- 名前も内容も知らない

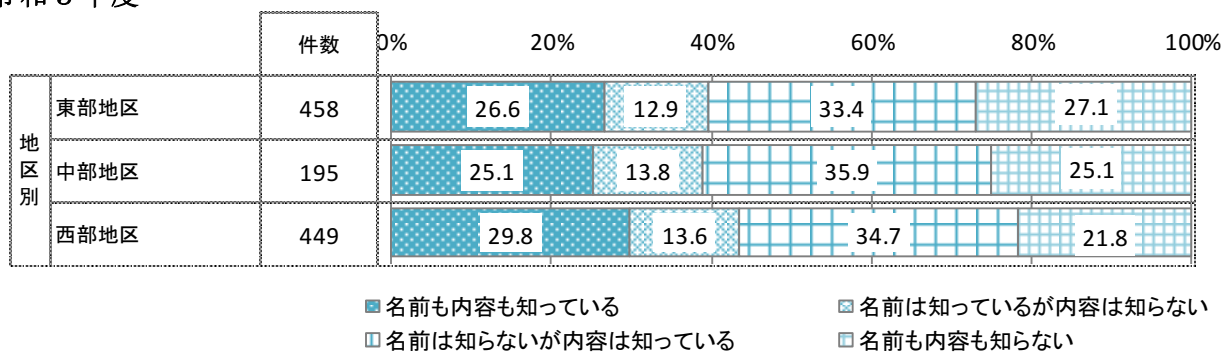
平成30年度



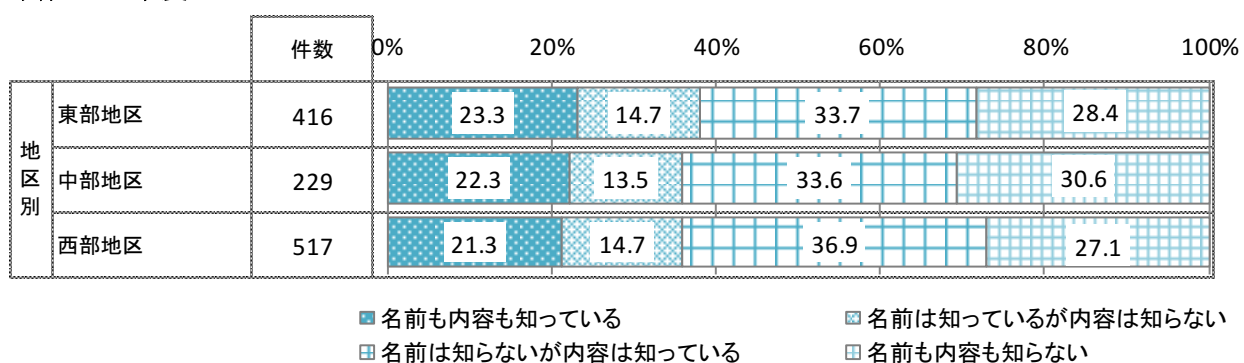
- 名前も内容も知っている
- 名前は知っているが内容は知らない
- 名前は知らないが内容は知っている
- 名前も内容も知らない

【地区別】

令和5年度



平成30年度



⑦【インターネットショッピングでの詐欺・ワンクリック請求】

全体では「名前も内容も知っている」(54.6%)が最も割合が高く、次いで「名前は知らないが内容は知っている」(23.6%)となっている。

前回調査(30年度)と比較すると、「名前も内容も知っている」が10.9ポイント増加している。

性別では、男女ともに「名前も内容も知っている」が最も割合が高く、男性が女性を7.0ポイント上回っている。「名前は知らないが内容は知っている」では、女性が男性を6.1ポイント上回っている。

前回調査(30年度)と比較すると、男女ともに「名前も内容も知っている」が大幅に増加している。

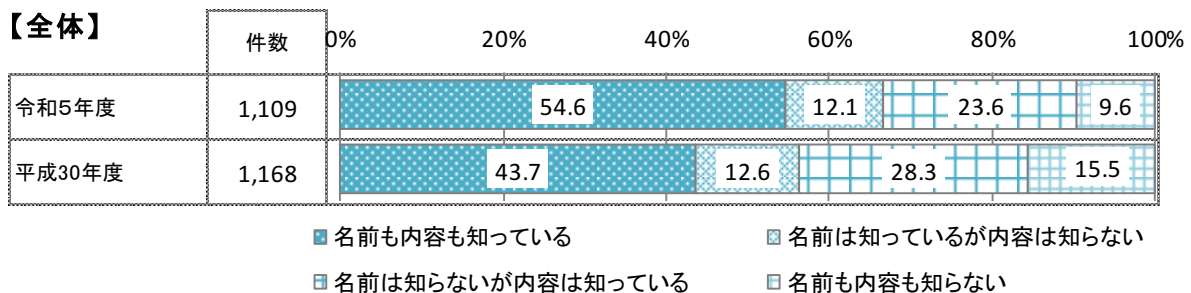
年齢別では、64歳以下では「名前も内容も知っている」が最も割合が高く、特に20～30歳代では8割以上となっている。また、65歳以上では「名前は知らないが内容は知っている」が、75歳以上では、「名前も内容も知らない」が最も割合が高い。

前回調査(30年度)と比較すると、全世代で「名前も内容も知っている」が増加している。

地区別では、西部地区で「名前も内容も知っている」が最も高い。

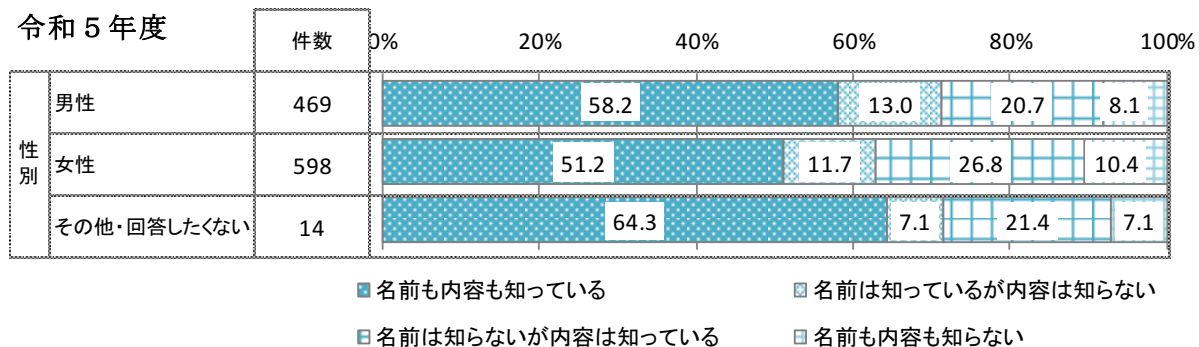
前回調査(30年度)と比較すると全ての地区で「名前も内容も知っている」が増加している。

【全体】

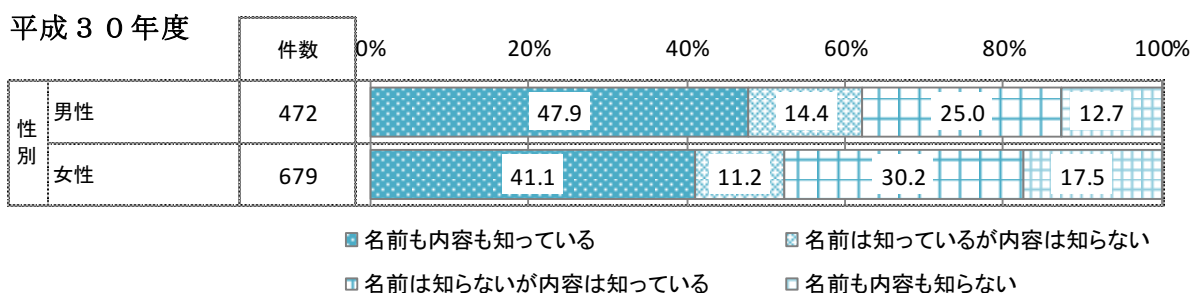


【性別】

令和5年度

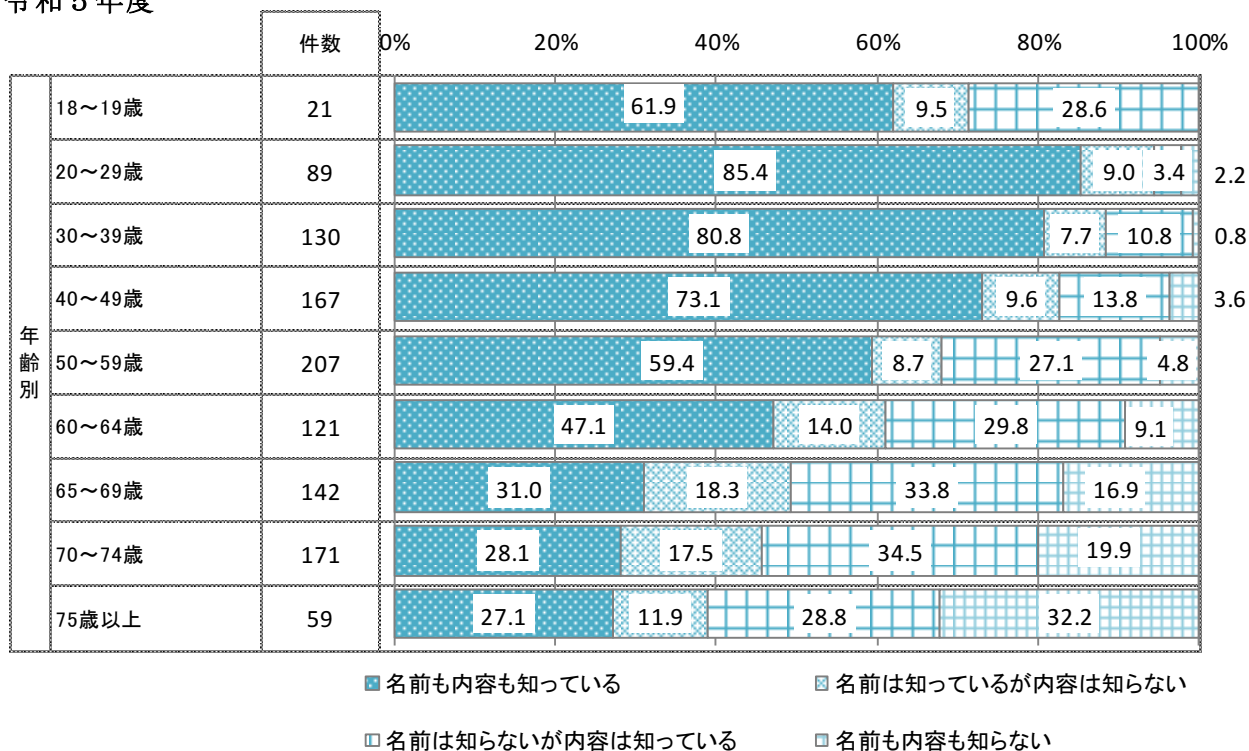


平成30年度

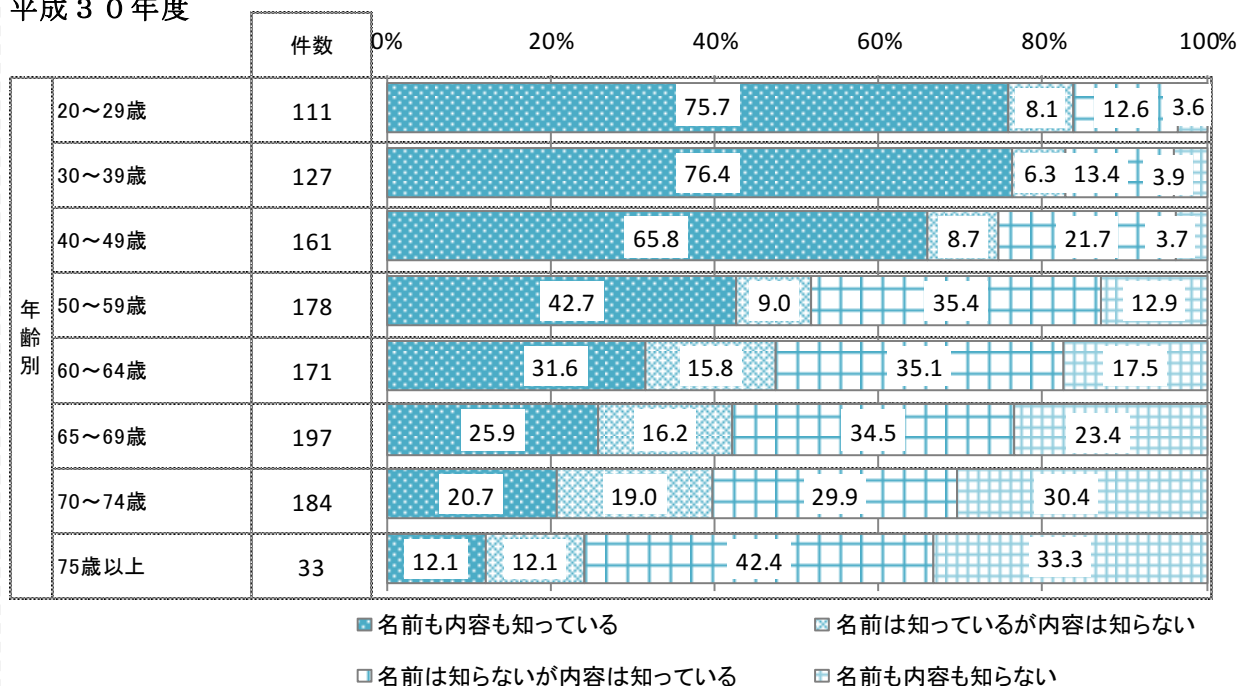


【年齢別】

令和5年度

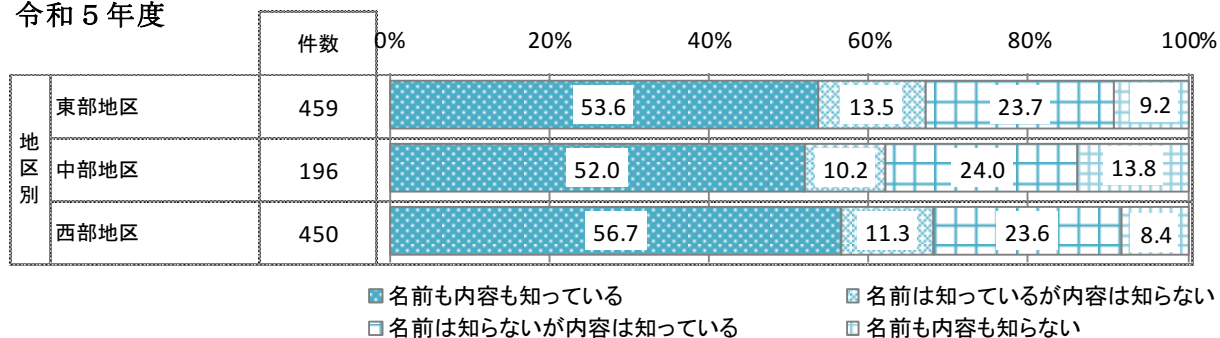


平成30年度

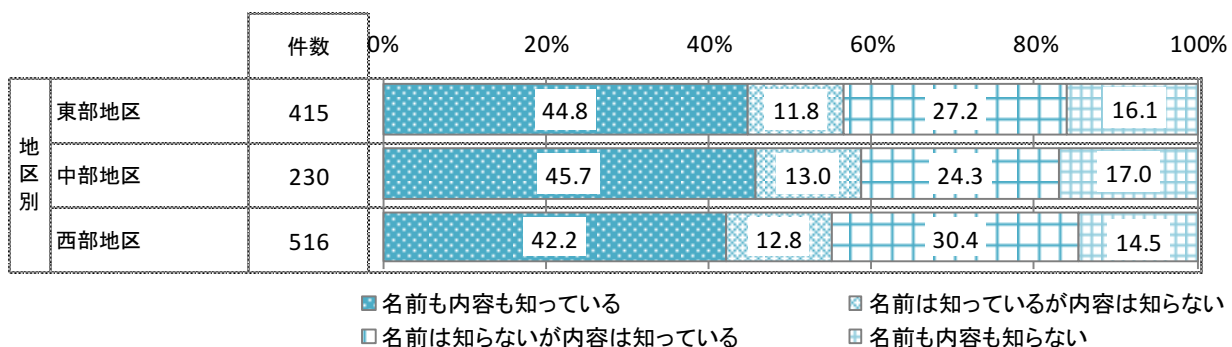


【地区別】

令和5年度



平成30年度



⑧【訪問購入(押し買い)】

全体では「名前も内容も知っている」(49.7%)が最も割合が高く、次いで「名前は知らないが内容は知っている」(30.2%)となっている。

前回調査(30年度)と比較すると、「名前も内容も知っている」が6.9ポイント増加している。

性別では、男女ともに「名前も内容も知っている」が最も割合が高く、女性が男性を1.9ポイント上回っている。「名前は知らないが内容は知っている」では、女性が男性を4.5ポイント上回っている。

前回調査(30年度)と比較すると、「名前も内容も知っている」が女性は8.3ポイント増加している。

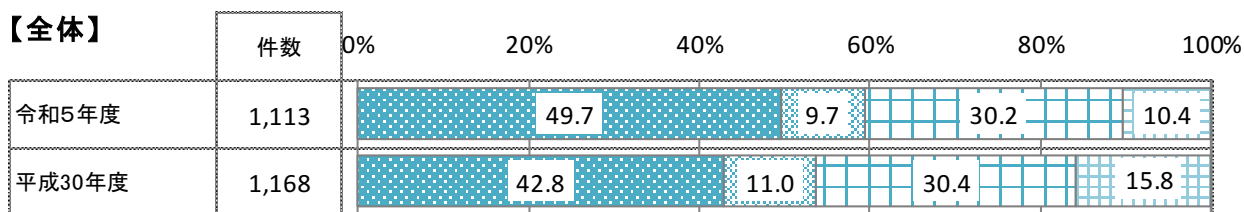
年齢別では、全ての年代で「名前も内容も知っている」が最も割合が高く、特に30~50代では5割以上となっている。また、18~29歳では「名前も内容も知らない」が他の年代に比べ割合が高い。

前回調査(30年度)と比較すると、「名前も内容も知っている」が20歳代を除くすべての世代で増加している。

地区別では、傾向に目立った差異はない。

前回調査(30年度)と比較すると、全地区で「名前も内容も知っている」が増加している。

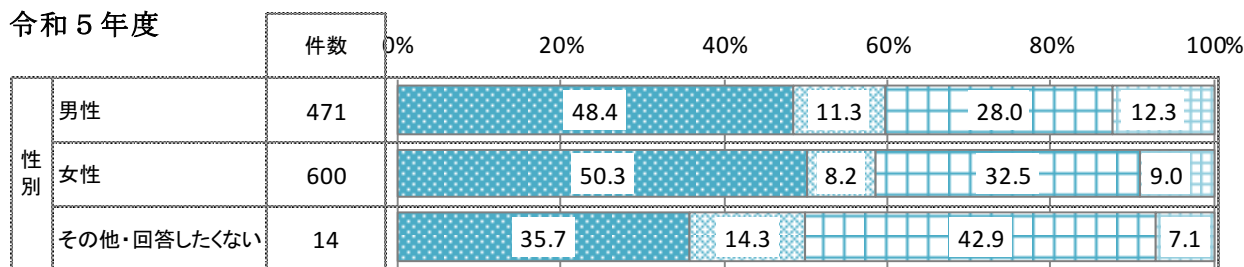
【全体】



- 名前も内容も知っている
 - 名前は知っているが内容は知らない
- 名前は知らないが内容は知っている
 - 名前も内容も知らない

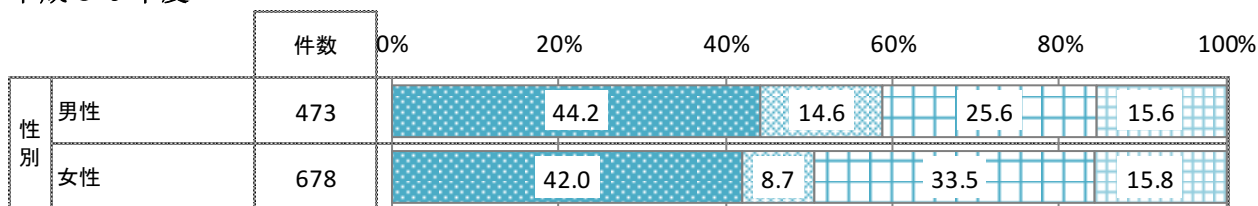
【性別】

令和5年度



- 名前も内容も知っている
 - 名前は知っているが内容は知らない
- 名前は知らないが内容は知っている
 - 名前も内容も知らない

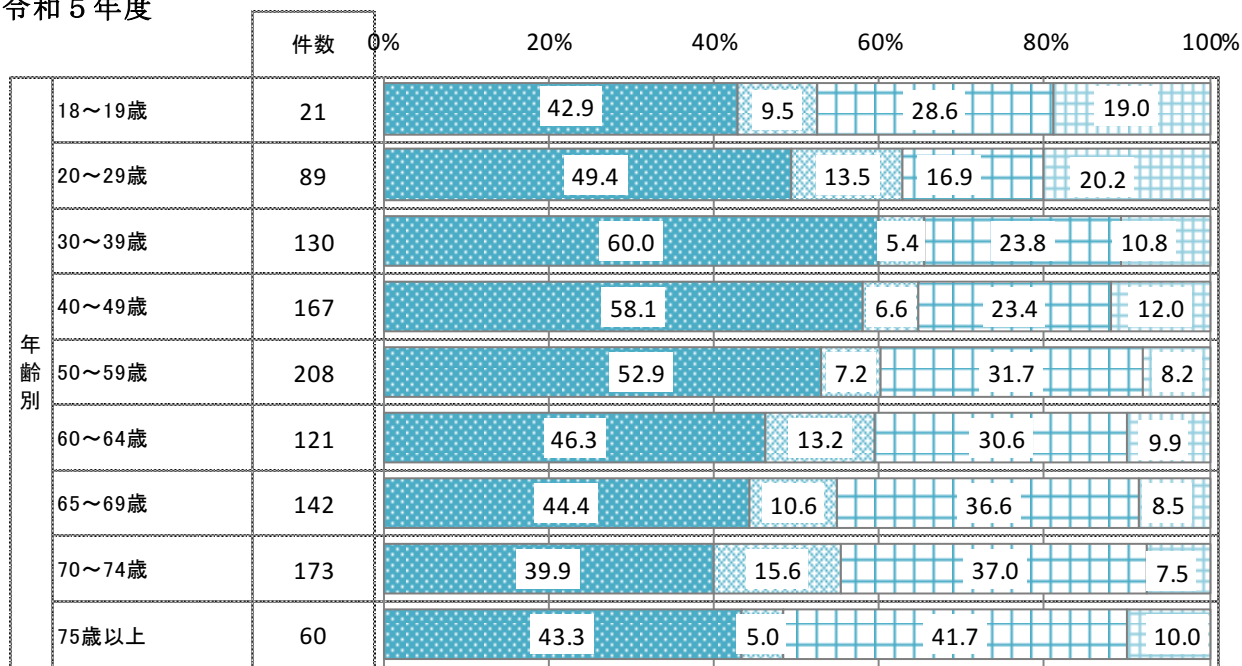
平成30年度



- 名前も内容も知っている
 - 名前は知っているが内容は知らない
- 名前は知らないが内容は知っている
 - 名前も内容も知らない

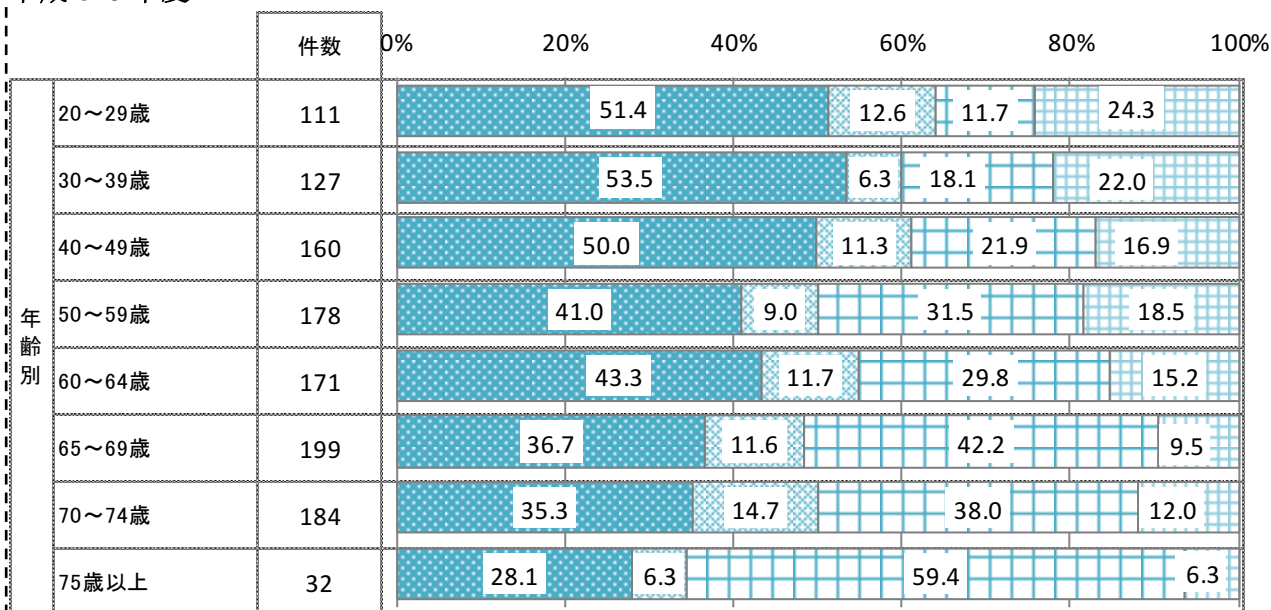
【年齢別】

令和5年度



- 名前も内容も知っている
- 名前は知っているが内容は知らない
- 名前は知らないが内容は知っている
- 名前も内容も知らない

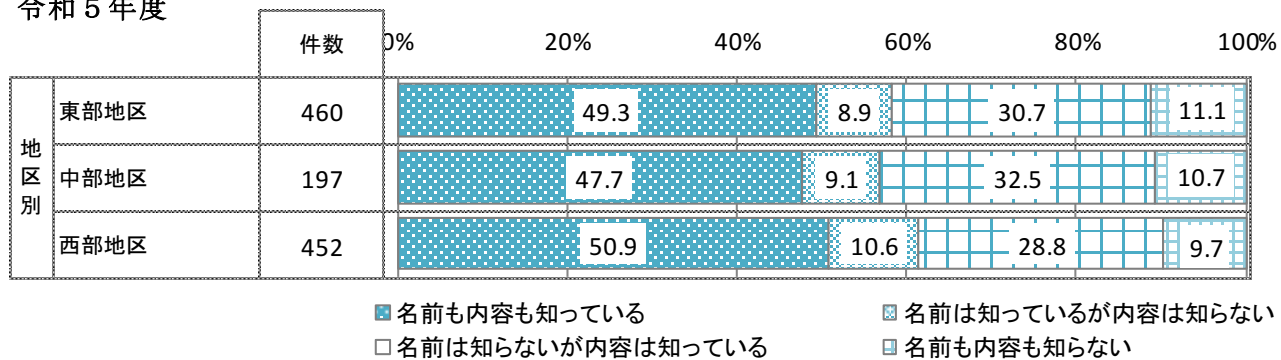
平成30年度



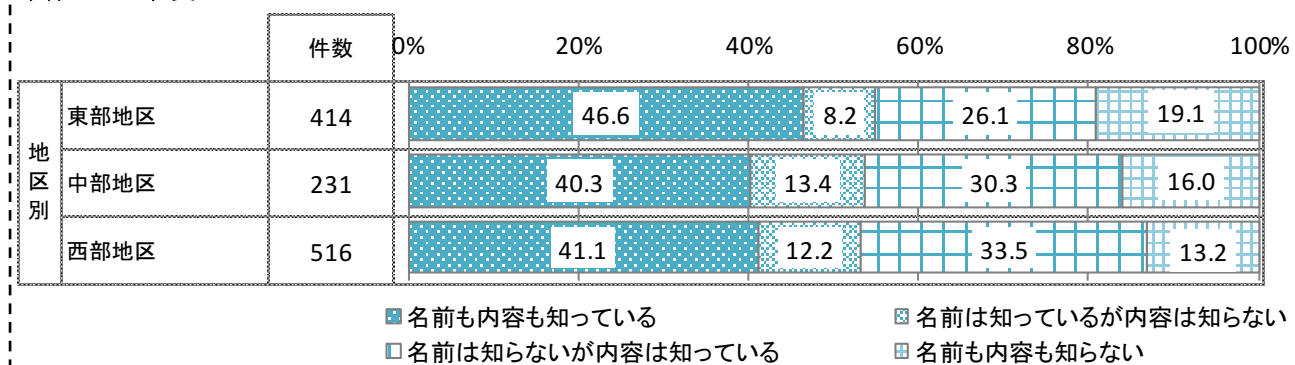
- 名前も内容も知っている
- 名前は知っているが内容は知らない
- 名前は知らないが内容は知っている
- 名前も内容も知らない

【地区別】

令和5年度



平成30年度



⑨【架空請求詐欺】

全体では「名前も内容も知っている」(63.9%)が最も割合が高く、次いで「名前は知らないが内容は知っている」(21.3%)となっている。

前回調査(30年度)と比較すると、「名前も内容も知っている」が4.6ポイント増加している。

性別では、男女ともに「名前も内容も知っている」が最も割合が高く、男性が女性を0.1ポイント上回っている。「名前は知らないが内容は知っている」では、男性が女性を0.2ポイント上回っている。

前回調査(30年度)と比較すると、男女ともに「名前も内容も知っている」が増加している。

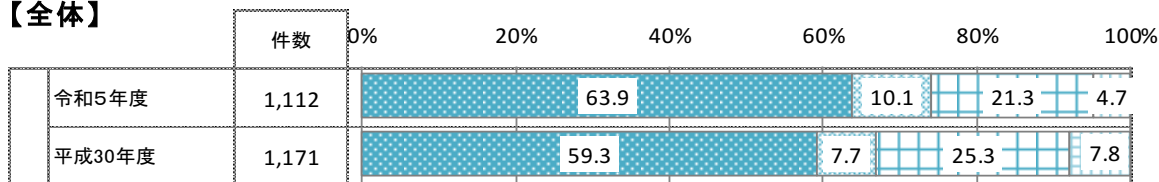
年齢別では、18~74歳では、「名前も内容も知っている」が最も割合が高く、特に20~40歳代においては8割以上となっている。75歳以上では「名前は知らないが内容は知っている」が最も割合が高い。

前回調査(30年度)と比較すると、30歳代、65~69歳を除く世代で「名前も内容も知っている」が増加している。

地区別では、全ての地区で「名前も内容も知っている」の割合が高く、6割以上となっている。

前回調査(30年度)と比較すると、中部地区以外で「名前も内容も知っている」が増加している。

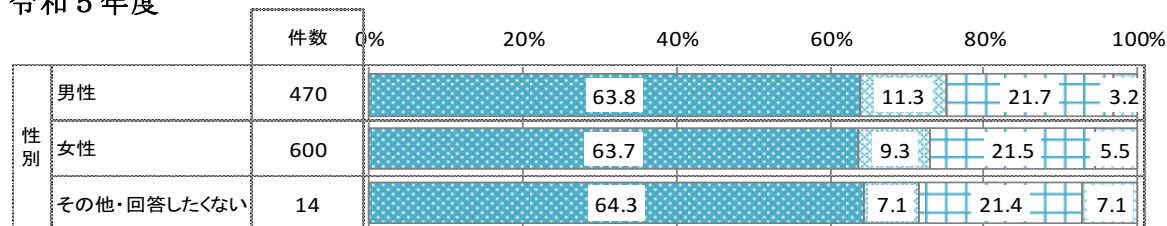
【全体】



■ 名前も内容も知っている ■ 名前は知っているが内容は知らない
■ 名前は知らないが内容は知っている ■ 名前も内容も知らない

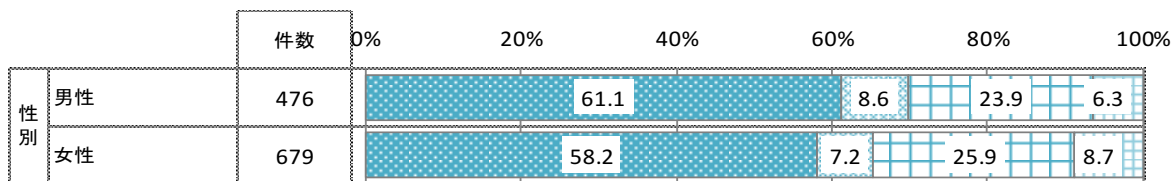
【性別】

令和5年度



■ 名前も内容も知っている ■ 名前は知っているが内容は知らない
■ 名前は知らないが内容は知っている ■ 名前も内容も知らない

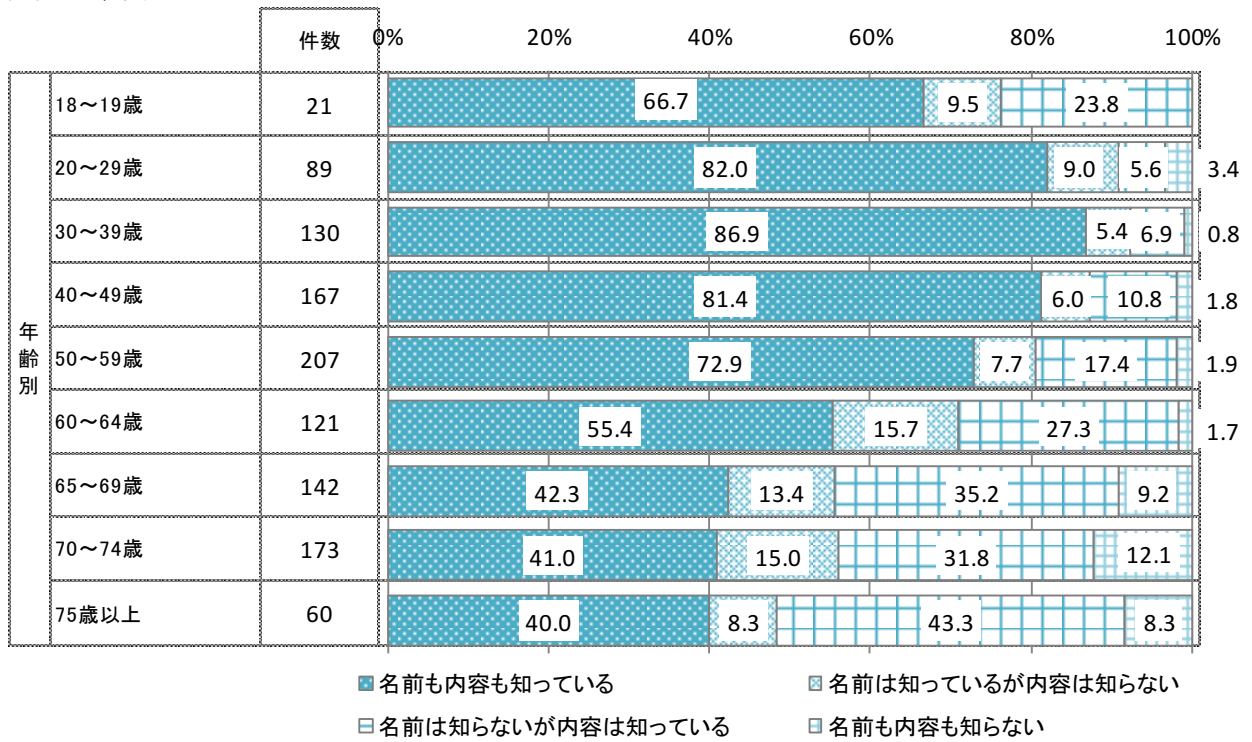
平成30年度



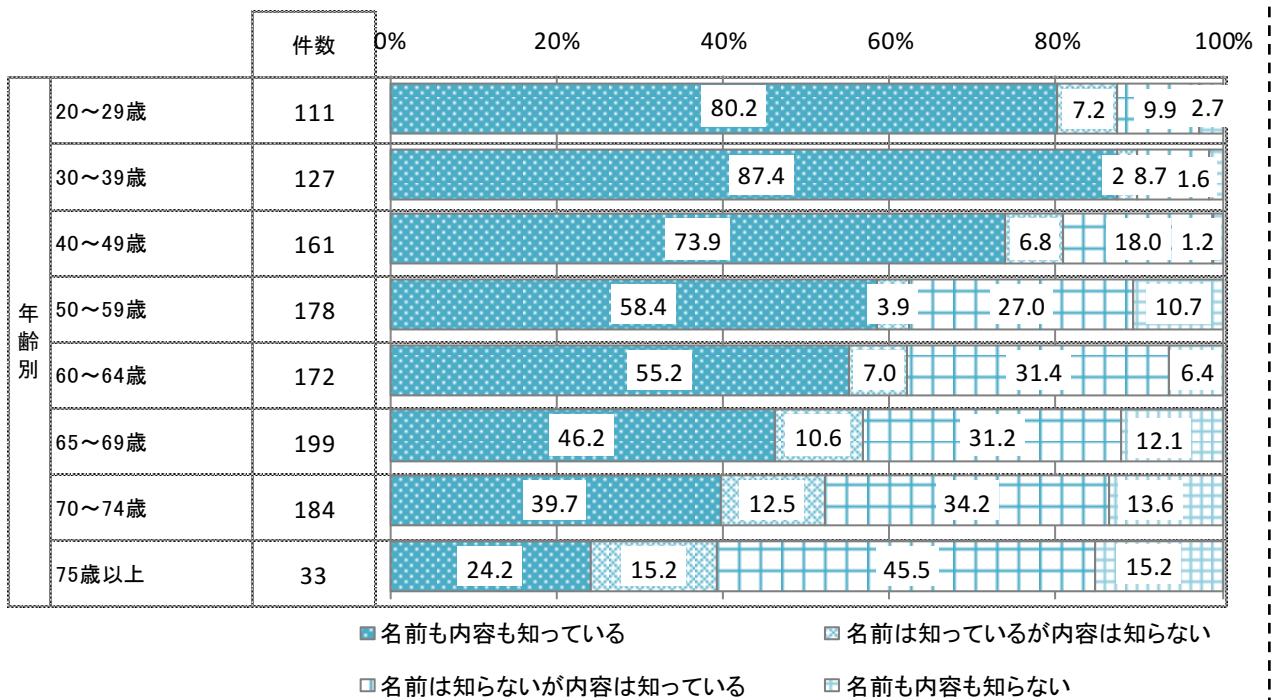
■ 名前も内容も知っている ■ 名前は知っているが内容は知らない
■ 名前は知らないが内容は知っている ■ 名前も内容も知らない

【年齢別】

令和5年度

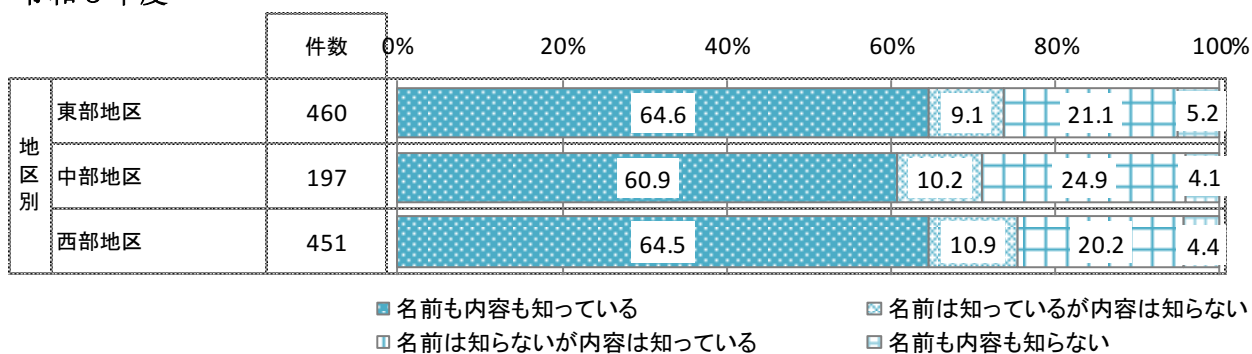


平成30年度

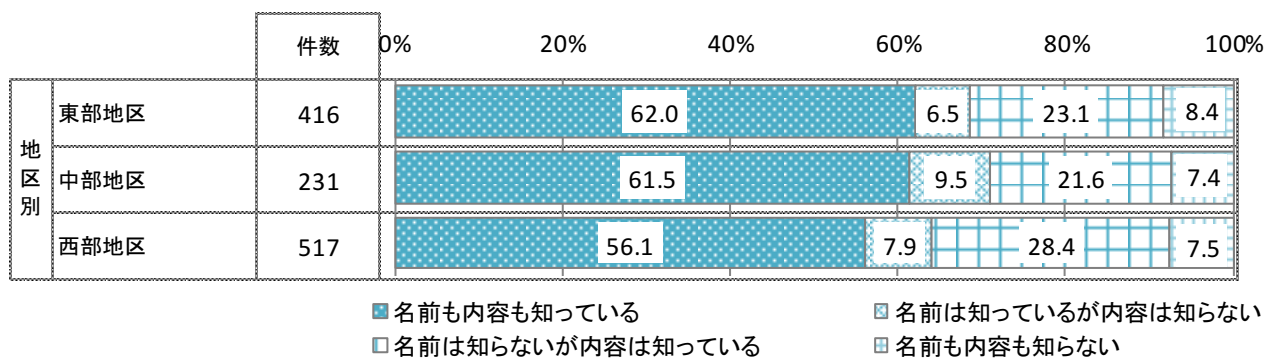


【地区別】

令和5年度



平成30年度



(2)消費者被害の経験の有無(家族も含めて)

【問 12】

全体では「自分も家族も被害にあったことも、あいそうになったこともない」が61.6%と最も割合が高い。

前回調査(30年度)と比較すると、「自分も家族も被害にあったことも、あいそうになったこともない」は2.8ポイント増加している。

性別では、男女ともに「自分も家族も被害にあったことも、あいそうになったこともない」が最も高く、男性が女性を4.2ポイント上回っている。

前回調査(30年度)と比較すると、「自分も家族も被害にあったことも、あいそうになったこともない」は男性が3.7ポイント、女性が1.4ポイント増加している。

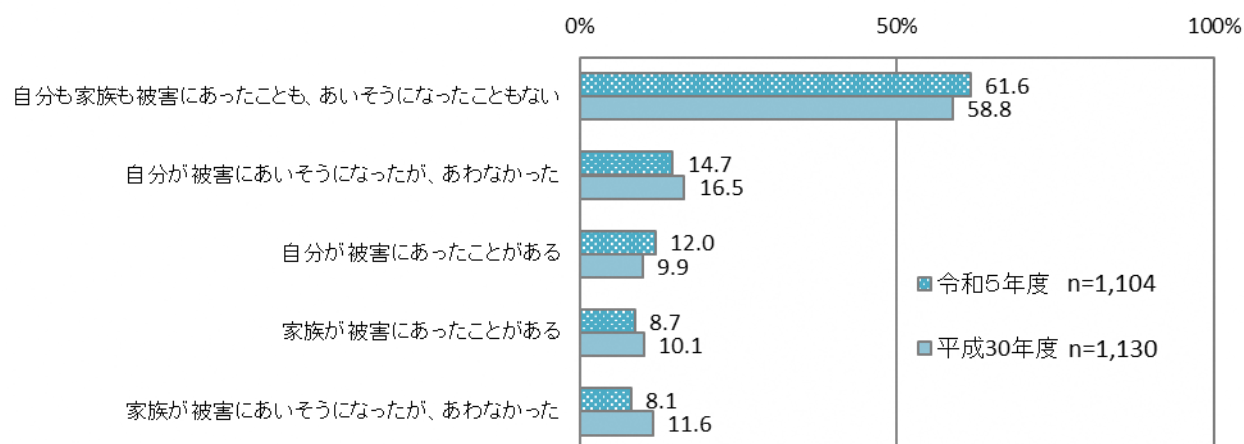
年齢別では、全ての年齢層で「自分も家族も被害にあったことも、あいそうになったこともない」が最も割合が高くなっており、18~19歳、75歳以上は8割以上と他の年代に比べ高い。

前回調査(30年度)と比較すると、「自分も家族も被害にあったことも、あいそうになったこともない」が75歳以上で13.7ポイント増加している。また、「自分が被害にあったことがある」が60~64歳で8.4ポイント増加している。

地区別では、全ての地区で「自分も家族も被害にあったことも、あいそうになったこともない」が最も割合が高く、西部地区で割合が最も高い。

前回調査(30年度)と比較すると、「自分も家族も被害にあったことも、あいそうになったこともない」が西部地区で増加している。

【全体】



【性別・年齢別・地区別】

令和5年度

	回答件数 計	割合(%)					
		自分も家族も被害にあったことも、あいそようになったこともない	自分が被害にあいそになったが、あわなかった	自分が被害にあったことがある	家族が被害にあったことがある	家族が被害にあいそになったが、あわなかった	
全体	1,104	61.6	14.7	12.0	8.7	8.1	
性別	男性	466	63.5	15.2	10.3	6.9	7.7
	女性	597	59.3	14.7	13.6	9.5	8.7
	その他・回答したくない	13	53.8	7.7	15.4	30.8	7.7
年齢別	18～19歳	21	81.0	4.8	0.0	14.3	4.8
	20～29歳	89	70.8	9.0	9.0	9.0	5.6
	30～39歳	126	62.7	13.5	10.3	8.7	10.3
	40～49歳	166	53.0	18.1	16.9	9.0	10.2
	50～59歳	207	52.7	15.5	13.0	11.6	10.1
	60～64歳	121	51.2	19.0	22.3	10.7	3.3
	65～69歳	139	64.7	15.1	10.1	8.6	9.4
	70～74歳	175	68.0	16.0	7.4	4.0	8.0
75歳以上	58	87.9	3.4	3.4	5.2	1.7	
地区別	東部地区	455	60.0	16.7	11.4	7.9	9.5
	中部地区	193	54.4	14.0	14.0	14.0	9.3
	西部地区	452	66.2	12.8	11.7	7.3	6.2

平成30年度

	回答件数 計	割合(%)					
		自分も家族も被害にあったことも、あいそようになったこともない	家族が被害にあいそになったが、あわなかった	自分が被害にあったことがある	家族が被害にあったことがある	自分が被害にあいそになったが、あわなかった	
全体	1,130	58.8	11.6	9.9	10.1	16.5	
性別	男性	458	59.8	13.1	10.5	9.6	14.4
	女性	656	57.9	10.5	9.5	10.5	17.8
年齢別	20～29歳	110	70.9	10.0	5.5	10.0	10.9
	30～39歳	124	58.1	16.1	9.7	8.1	16.1
	40～49歳	160	52.5	14.4	15.6	6.9	16.9
	50～59歳	172	48.8	10.5	12.8	14.5	20.3
	60～64歳	165	50.9	9.7	13.9	15.8	20.6
	65～69歳	190	64.7	9.5	5.8	7.4	17.9
	70～74歳	173	65.3	11.6	6.4	7.5	12.7
75歳以上	31	74.2	12.9	6.5	9.7	0.0	
地区別	東部地区	404	56.7	11.1	10.6	11.1	16.6
	中部地区	226	58.0	13.3	8.0	9.7	19.9
	西部地区	494	60.7	11.1	10.3	9.3	14.6

(3) (自分か家族が被害を受けた場合)被害の内容

【問 12-1】

全体では「悪質な手口」(31.8%)が最も割合が高く、「販売方法(大げさな広告、勘違いさせるような説明、契約をせかす、おどすなど)」(28.4%)が続いている。

前回調査(30年度)と比較すると、「悪質な手口」「販売方法(大げさな広告、勘違いさせるような説明、契約をせかす、おどすなど)」ともに減少している。

性別では、男性は「悪質な手口」、女性は「販売方法(大げさな広告、勘違いさせるような説明、契約をせかす、おどすなど)」が最も割合が高い。

前回調査(30年度)と比較すると、「製品の品質・安全性(模造品、欠陥品、量や質、性能や効果が表示や説明と違ったなど)」、「価格(「特別価格」や「優待価格」がうそだったなど)」は男性で増加し、「個人情報の取り扱い(個人情報流出の被害にあったなど)」は女性で増加している。

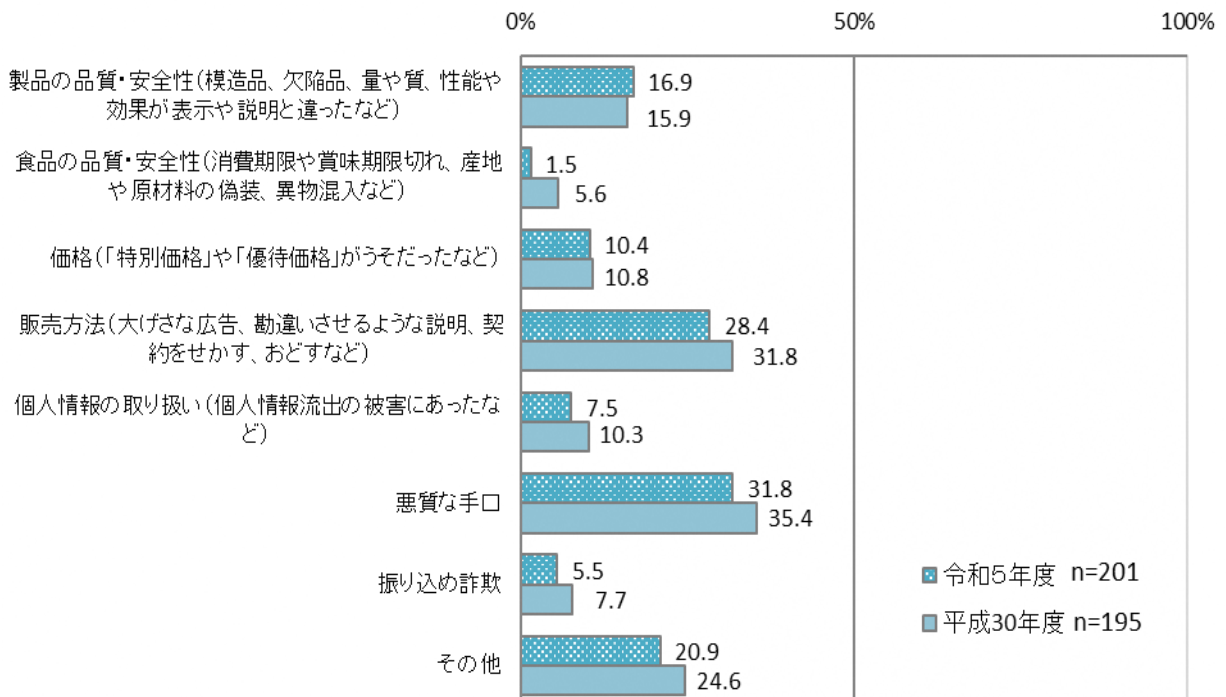
年齢別では、18~19歳、30~39歳では「悪質な手口」が5割以上となっている。また、20歳代では「販売方法(大げさな広告、勘違いさせるような説明、契約をせかす、おどすなど)」が4割以上となっている。

前回調査(30年度)と比較すると、「悪質な手口」は30歳代、75歳以上で20ポイント以上増加している。

地区別では、「悪質な手口」は西部地区で割合が最も高い。

前回調査(30年度)と比較すると、「悪質な手口」「販売方法(大げさな広告、勘違いさせるような説明、契約をせかす、おどすなど)」は中部地区で10ポイント以上減少している。

【全体】



【性別・年齢別・地区別】

令和5年度

	回答件数 計	割合 (%)								
		悪質な手口	販売方法(大げさな広告、勘違いさせるような説明、契約をせかす、おどすなど)	製品の品質・安全性(模造品、欠陥品、量や質、性能や効果が表示や説明と違ったなど)	価格(「特別価格」や「優待価格」がうそだったなど)	個人情報の取り扱い(個人情報の流出の被害にあったなど)	振り込め詐欺	食品の品質・安全性(消費期限や賞味期限切れ、産地や原材料の偽装、異物混入など)	その他	
全体	201	31.8	28.4	16.9	10.4	7.5	5.5	1.5	20.9	
性別	男性	77	33.8	23.4	22.1	13.0	3.9	9.1	0.0	18.2
	女性	117	29.9	30.8	14.5	7.7	9.4	2.6	2.6	23.1
	その他・回答したくない	4	50.0	25.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	25.0
年齢別	18～19歳	3	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	14	28.6	42.9	21.4	14.3	7.1	0.0	0.0	21.4
	30～39歳	23	56.5	21.7	8.7	26.1	8.7	4.3	4.3	13.0
	40～49歳	38	28.9	26.3	13.2	10.5	7.9	5.3	5.3	18.4
	50～59歳	46	34.8	26.1	23.9	4.3	6.5	4.3	0.0	23.9
	60～64歳	36	19.4	33.3	22.2	5.6	8.3	13.9	0.0	19.4
	65～69歳	18	22.2	22.2	22.2	27.8	0.0	0.0	0.0	27.8
	70～74歳	19	31.6	36.8	0.0	0.0	5.3	5.3	0.0	31.6
	75歳以上	4	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0
地区別	東部地区	75	29.3	30.7	14.7	8.0	9.3	9.3	0.0	22.7
	中部地区	49	24.5	22.4	14.3	12.2	10.2	4.1	2.0	26.5
	西部地区	77	39.0	29.9	20.8	11.7	3.9	2.6	2.6	15.6

平成30年度

	回答件数 計	割合 (%)								
		悪質な手口	販売方法(大げさな広告、勘違いさせるような説明、契約をせかす、おどすなど)	製品の品質・安全性(模造品、欠陥品、量や質、性能や効果が表示や説明と違ったなど)	価格(「特別価格」や「優待価格」がうそだったなど)	個人情報の取り扱い(個人情報の流出の被害にあったなど)	振り込め詐欺	食品の品質・安全性(消費期限や賞味期限切れ、産地や原材料の偽装、異物混入など)	その他	
全体	195	35.4	31.8	15.9	10.8	10.3	7.7	5.6	24.6	
性別	男性	82	37.8	31.7	15.9	7.3	14.6	11.0	8.5	25.6
	女性	110	32.7	30.9	16.4	13.6	7.3	5.5	3.6	24.5
年齢別	20～29歳	16	50.0	12.5	25.0	6.3	12.5	0.0	0.0	43.8
	30～39歳	19	31.6	31.6	5.3	0.0	15.8	15.8	0.0	21.1
	40～49歳	33	45.5	21.2	9.1	9.1	3.0	12.1	6.1	27.3
	50～59歳	43	32.6	37.2	11.6	11.6	11.6	7.0	9.3	27.9
	60～64歳	38	31.6	36.8	18.4	13.2	13.2	7.9	5.3	21.1
	65～69歳	19	21.1	36.8	36.8	21.1	15.8	0.0	5.3	21.1
	70～74歳	21	42.9	33.3	14.3	9.5	4.8	4.8	9.5	19.0
	75歳以上	5	0.0	40.0	20.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0
地区別	東部地区	75	24.0	30.7	14.7	12.0	9.3	10.7	6.7	21.3
	中部地区	33	39.4	39.4	21.2	15.2	6.1	3.0	6.1	15.2
	西部地区	86	43.0	29.1	15.1	8.1	12.8	7.0	4.7	31.4

(4) (自分か家族が被害を受けた場合)相談などを行ったか 【問 12-2】

全体では「相談したり、伝えたりした」(57.2%)が「相談したり、伝えたりしなかった」(42.8%)を上回った。

前回調査(30年度)と比較すると、「相談したり、伝えたりした」が5.5ポイント増加、「相談したり、伝えたりしなかった」が6.5ポイント減少している。

性別では、「相談したり、伝えたりした」が男性では56.4%、女性では56.5%であった。

前回調査(30年度)と比較すると、「相談したり、伝えたりした」が男性では2.6ポイント減少、女性では10.3ポイント増加している。

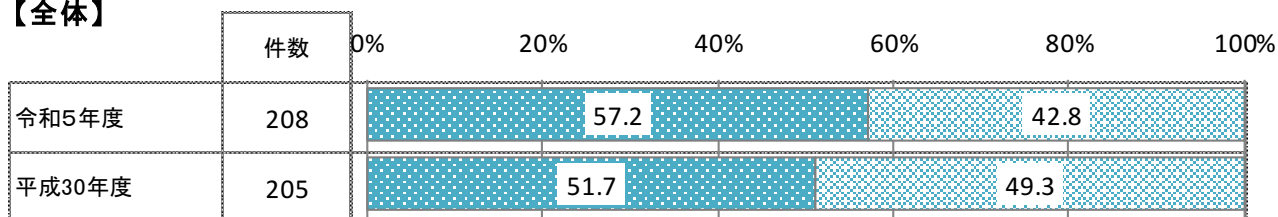
年齢別では、「相談したり、伝えたりした」は18~19歳以上で10割、次いで70~74歳で約7割となっている。一方、20歳代、50~64歳では「相談したり、伝えたりしなかった」が5割前後となっている。

前回調査(30年度)と比較すると、「相談したり、伝えたりした」は30~64歳、70~74歳では増加した一方で、20歳代、65~69歳では減少した。

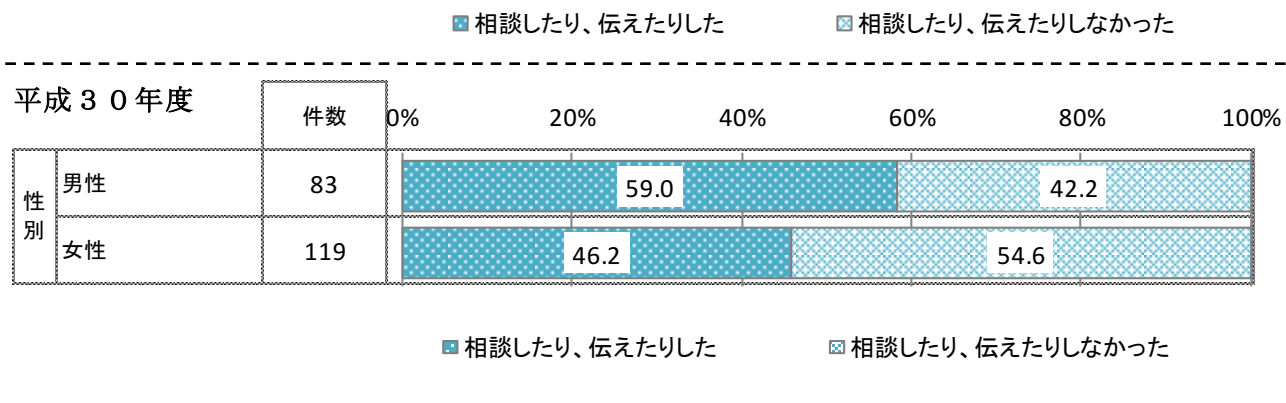
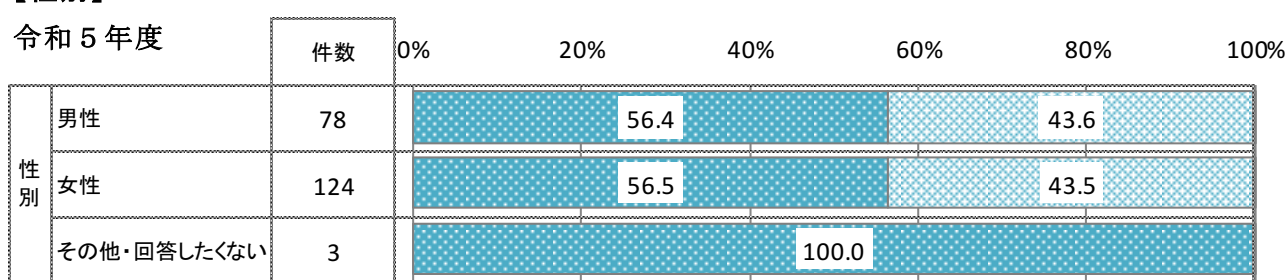
地区別では、東部地区は「相談したり、伝えたりした」の割合が最も高い。

前回調査(30年度)と比較すると、中部地区は「相談したり、伝えたりした」が10ポイント以上増加している。

【全体】

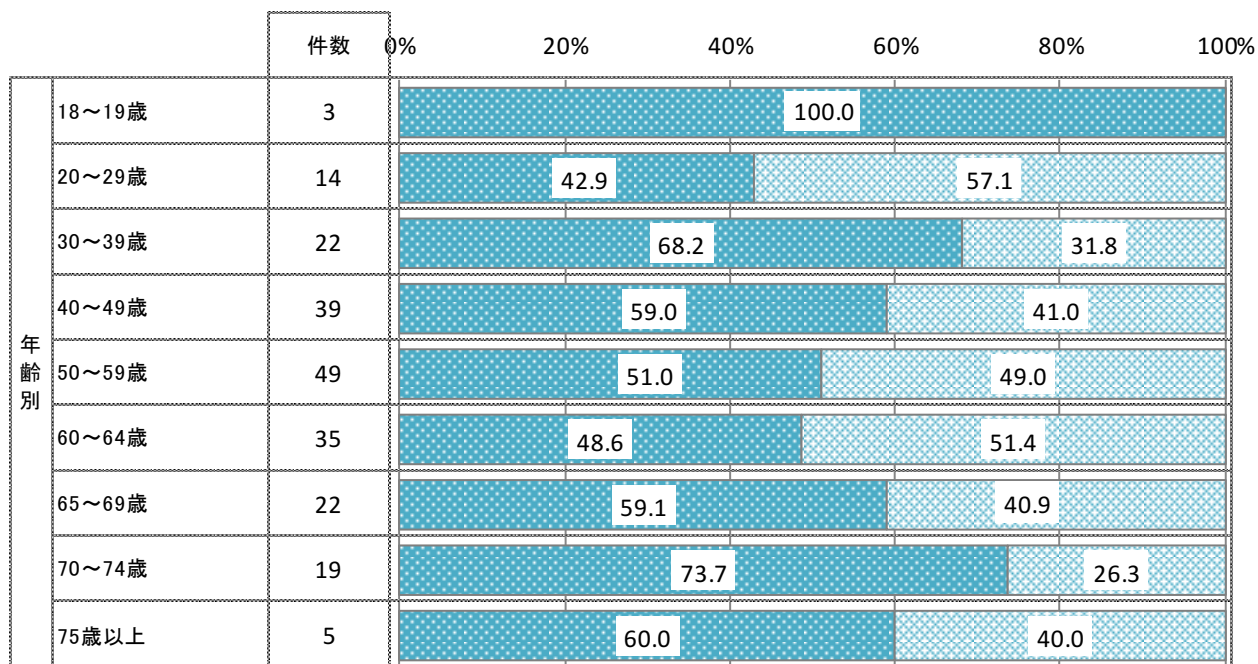


【性別】



【年齢別】

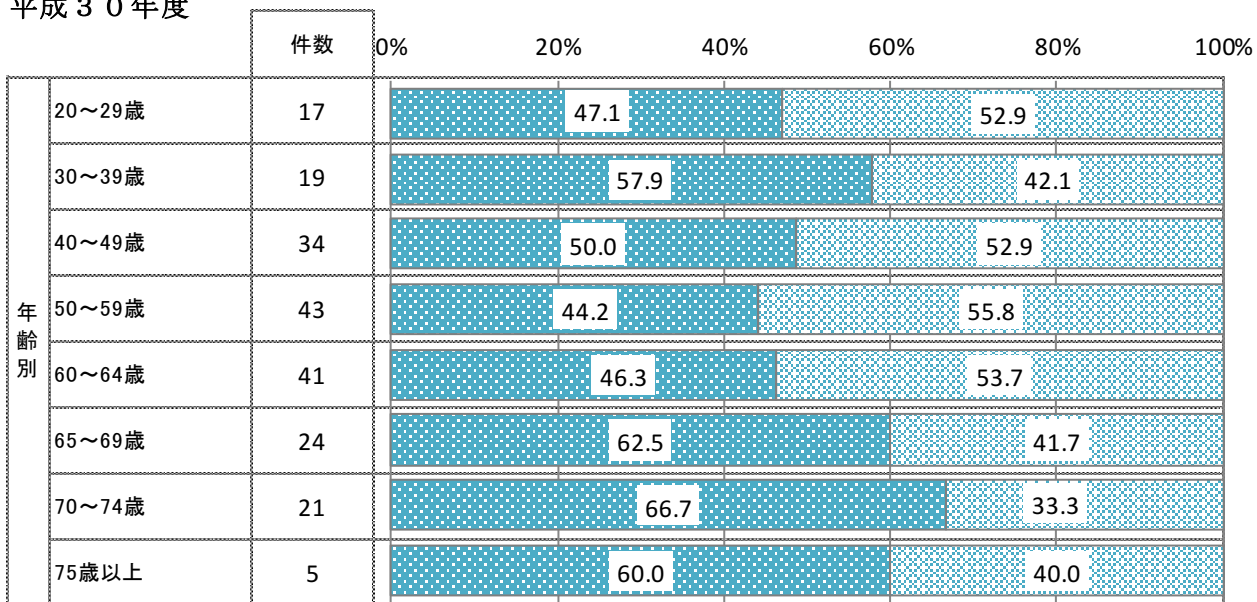
令和5年度



■ 相談したり、伝えたりした

■ 相談したり、伝えたりなかった

平成30年度

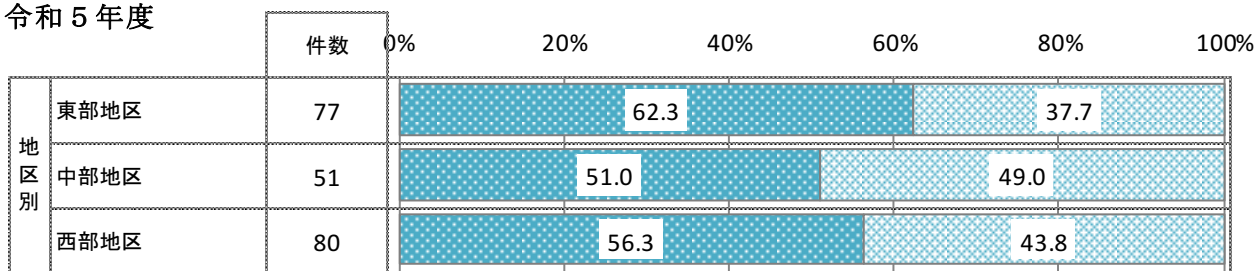


■ 相談したり、伝えたりした

■ 相談したり、伝えたりなかった

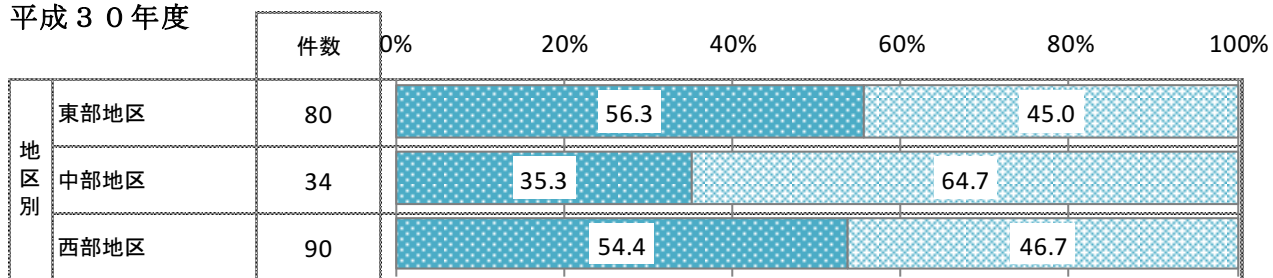
【地区別】

令和5年度



■ 相談したり、伝えたりした □ 相談したり、伝えたりしなかった

平成30年度



■ 相談したり、伝えたりした □ 相談したり、伝えたりしなかった

(5)(相談した場合)相談先

【問 12-2-1】

全体では「家族・親族」(38.7%)が最も割合が高く、次いで「購入先、利用先、営業担当者等」(32.8%)、「市町村の消費生活センター・相談窓口」(23.5%)となっている。

前回調査(30年度)と比較すると、「家族・親族」「購入先、利用先、営業担当者等」が約10ポイント増加している。

性別では、男性では「家族・親族」が34.1%、女性では「購入先、利用先、営業担当者等」が41.4%と、それぞれ最も割合が高い。

前回調査(30年度)と比較すると、「家族・親族」は男女ともに増加、「購入先、利用先、営業担当者等」「市町村の消費生活センター・相談窓口」は女性で10ポイント以上増加している。

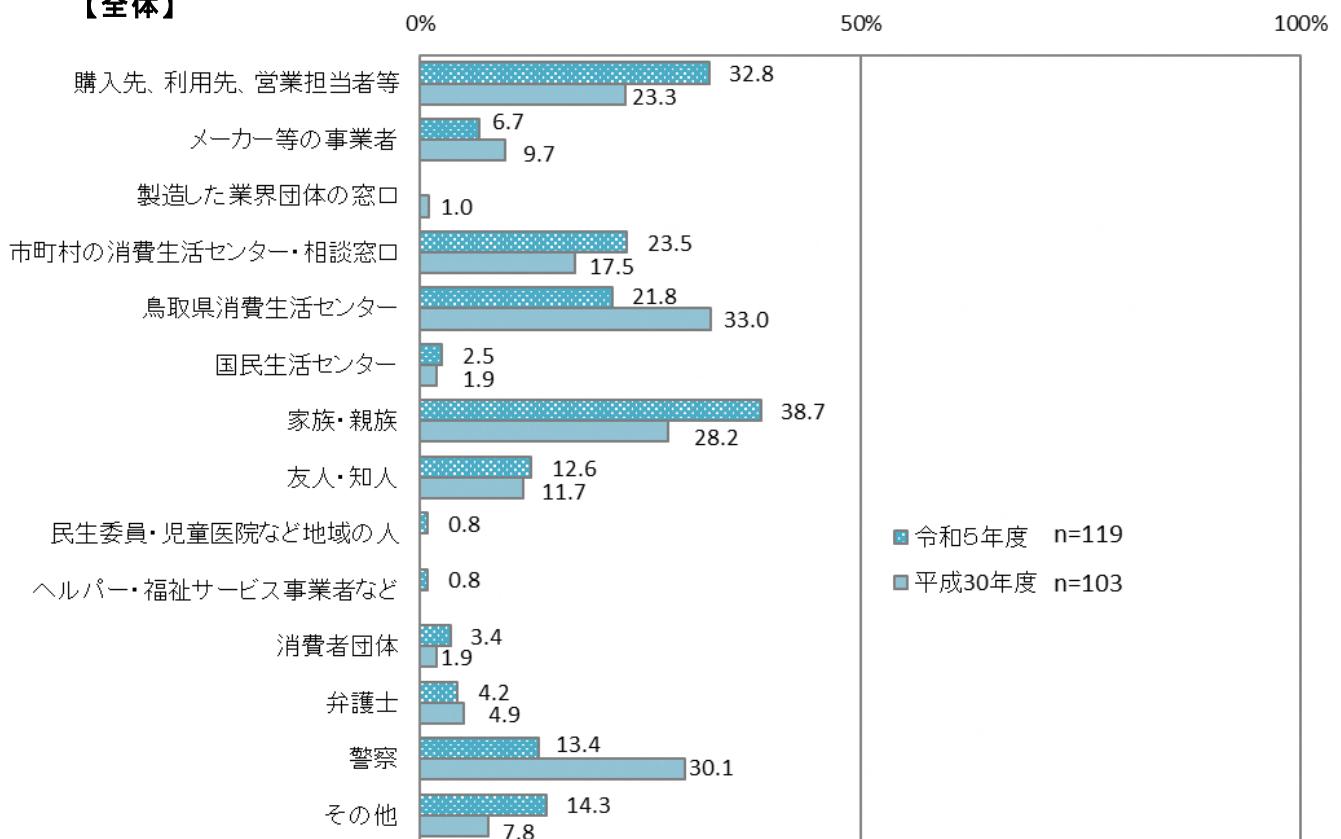
年齢別では、18~19歳、65~69歳、75歳以上を除く年代で「家族・親族」が最も高く、また、18~19歳では「購入先、利用先、営業担当者等」が最も高い。

前回調査(30年度)と比較すると、20歳代、70~74歳で「家族・親族」が大幅に増加している。

地区別では、「市町村の消費生活センター・相談窓口」の割合が中部地区で、「鳥取県消費生活センター」が東部地区で最も高い。

前回調査(30年度)と比較すると、中部地区では特に「家族・親族」「購入先、利用先、営業担当者等」が30ポイント程度増加している。

【全体】



【性別・年齢別・地区別】

令和5年度

	回答件数 計	割合(%)													
		家族・親族	購入先、利用先、営業担当者等	市町村の消費生活センター相談窓口	鳥取県消費生活センター	警察	友人・知人	メーカー等の事業者	弁護士	消費者団体	国民生活センター	民生委員・児童委員など地域の人	ヘルパー・福祉サービス事業者など	製造した業界団体の窓口	その他
全体	119	38.7	32.8	23.5	21.8	13.4	12.6	6.7	4.2	3.4	2.5	0.8	0.8	0.0	14.3
性別	男性	44	34.1	18.2	15.9	25.0	22.7	6.8	4.5	6.8	4.5	2.3	0.0	0.0	11.4
	女性	70	38.6	41.4	27.1	21.4	8.6	15.7	5.7	2.9	1.4	2.9	0.0	1.4	0.0
	その他(回答したくない)	3	100.0	33.3	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別	18～19歳	3	33.3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20～29歳	6	50.0	50.0	16.7	33.3	33.3	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	15	46.7	46.7	0.0	0.0	13.3	20.0	20.0	0.0	6.7	6.7	6.7	0.0	6.7
	40～49歳	23	43.5	30.4	21.7	21.7	13.0	13.0	8.7	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	17.4
	50～59歳	25	36.0	32.0	32.0	32.0	12.0	12.0	4.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	16.0
	60～64歳	17	29.4	17.6	17.6	23.5	29.4	23.5	0.0	17.6	0.0	0.0	0.0	0.0	11.8
	65～69歳	13	30.8	30.8	38.5	30.8	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0	15.4
	70～74歳	14	50.0	28.6	28.6	21.4	7.1	7.1	7.1	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0	14.3
	75歳以上	3	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
	地区別	東部地区	48	41.7	31.3	14.6	25.0	12.5	4.2	8.3	6.3	2.1	4.2	0.0	0.0
	中部地区	26	38.5	26.9	30.8	15.4	19.2	11.5	7.7	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	7.7
	西部地区	45	35.6	37.8	28.9	22.2	11.1	22.2	4.4	4.4	4.4	2.2	2.2	2.2	0.0

平成30年度

	回答件数 計	割合(%)														
		家族・親族	購入先、利用先、営業担当者等	市町村の消費生活センター相談窓口	鳥取県消費生活センター	警察	友人・知人	メーカー等の事業者	弁護士	消費者団体	国民生活センター	民生委員・児童委員など地域の人	ヘルパー・福祉サービス事業者など	製造した業界団体の窓口	その他	
全体	103	28.2	23.3	17.5	33.0	30.1	11.7	9.7	4.9	1.9	1.9	0.0	0.0	1.0	7.8	
性別	男性	47	23.4	23.4	27.7	29.8	34.0	10.6	8.5	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	6.4	
	女性	54	31.5	24.1	9.3	37.0	25.9	11.1	9.3	1.9	3.7	0.0	0.0	1.9	9.3	
年齢別	20～29歳	8	25.0	50.0	12.5	37.5	25.0	12.5	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	
	30～39歳	11	27.3	27.3	36.4	36.4	27.3	0.0	0.0	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	40～49歳	16	25.0	12.5	18.8	43.8	43.8	12.5	18.8	0.0	6.3	0.0	0.0	6.3	6.3	
	50～59歳	19	42.1	31.6	10.5	31.6	26.3	21.1	10.5	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	15.8	
	60～64歳	19	31.6	15.8	15.8	47.4	26.3	5.3	10.5	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	5.3	
	65～69歳	13	23.1	30.8	7.7	7.7	38.5	7.7	7.7	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	7.7	
	70～74歳	14	21.4	14.3	21.4	21.4	21.4	14.3	0.0	7.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	75歳以上	3	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	
	地区別	東部地区	44	34.1	29.5	11.4	40.9	29.5	11.4	11.4	2.3	2.3	2.3	0.0	0.0	2.3
		中部地区	12	8.3	0.0	33.3	8.3	33.3	8.3	8.3	8.3	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7
	西部地区	47	27.7	23.4	19.1	31.9	29.8	12.8	8.5	6.4	0.0	2.1	0.0	0.0	8.5	

(6)(相談しなかった場合)相談しない理由

【問 12-2-2】

全体では「どこに相談したり、伝えたりしたらいいかわからなかった」(37.1%)が最も割合が高く、次いで「めんどろだった」(36.0%)、「相談などしても、解決すると思えなかった」(29.2%)「自分にも責任があると思った」(29.2%)となっている。

前回調査(30年度)と比較すると、「どこに相談したり、伝えたりしたらいいかわからなかった」「めんどろだった」「被害を思い出したくなかった」「相談すると経済的に負担がかかるといった」が増加している。

性別では、男性は「めんどろだった」が、女性は「どこに相談したり、伝えたりしたらいいかわからなかった」が最も高い。

前回調査(30年度)と比較すると、男性は「めんどろだった」「被害を思い出したくなかった」が、女性は「相談すると経済的に負担がかかるといった」が特に増加している。

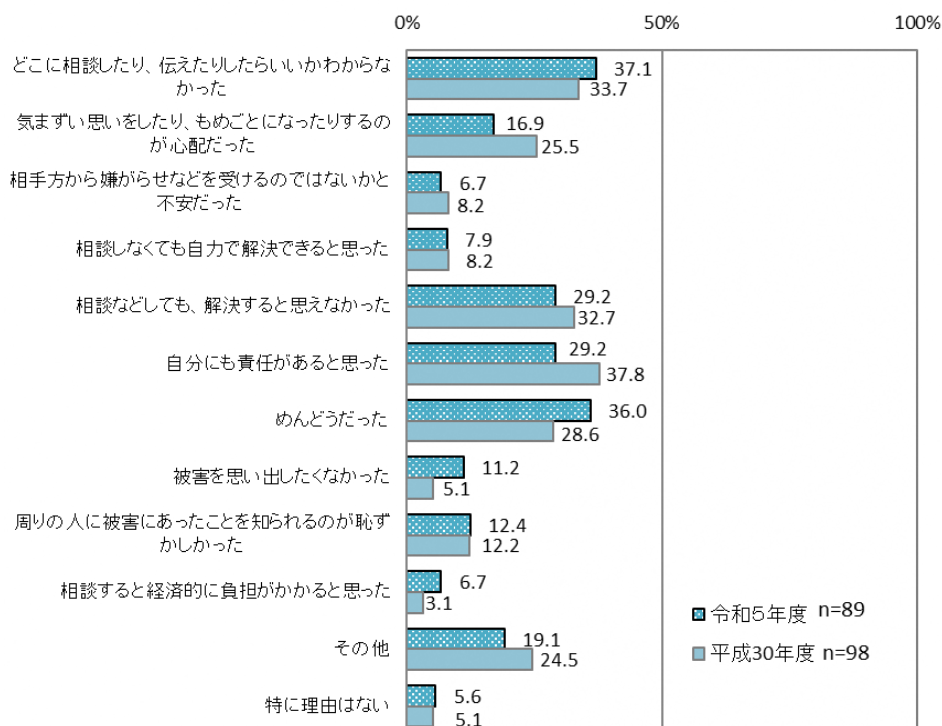
年齢別では、「どこに相談したり、伝えたりしたらいいかわからなかった」は30~59歳、65~74歳で4割以上となっている。

前回調査(30年度)と比較すると、「どこに相談したり、伝えたりしたらいいかわからなかった」は50~69歳で、「めんどろだった」は30~64歳で大幅に増加している。

地区別では、「どこに相談したり、伝えたりしたらいいかわからなかった」が東部地区で最も高い。

前回調査(30年度)と比較すると、「どこに相談したり、伝えたりしたらいいかわからなかった」「めんどろだった」は東部地区で増加している。

【全体】



【性別・年齢別・地区別】

令和5年度

	回答件数 計	割合(%)											
		どこに相談したり、伝えたりしたらいかがわからなかった	めんどうだった	相談などしても、解決すると思えなかった	自分にも責任があると思った	気まずい思いをしたり、もめごとになったりするのが心配だった	周りの人に被害にあったことを知られるのが恥ずかしかった	被害を思い出したくなかった	相談しなくても自力で解決できると思った	相手方から嫌がらせなどを受けるのではないかと不安だった	相談すると経済的に負担がかかると思った	その他	特に理由はない
全体	89	37.1	36.0	29.2	29.2	16.9	12.4	11.2	7.9	6.7	6.7	19.1	5.6
性別													
男性	34	32.4	44.1	32.4	32.4	20.6	11.8	14.7	5.9	2.9	0.0	14.7	5.9
女性	54	38.9	29.6	27.8	27.8	14.8	13.0	9.3	9.3	9.3	11.1	22.2	5.6
その他・回答したくない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
年齢別													
18～19歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～29歳	8	12.5	37.5	25.0	12.5	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	12.5	25.0	25.0
30～39歳	7	42.9	42.9	42.9	28.6	14.3	0.0	14.3	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0
40～49歳	16	43.8	43.8	43.8	56.3	12.5	31.3	12.5	0.0	6.3	12.5	12.5	0.0
50～59歳	24	41.7	37.5	29.2	16.7	16.7	0.0	8.3	8.3	0.0	4.2	20.8	4.2
60～64歳	18	33.3	38.9	11.1	22.2	11.1	5.6	5.6	0.0	11.1	5.6	22.2	5.6
65～69歳	9	44.4	22.2	22.2	33.3	11.1	22.2	22.2	11.1	11.1	0.0	33.3	11.1
70～74歳	5	40.0	0.0	60.0	60.0	60.0	60.0	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0
75歳以上	2	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
地区別													
東部地区	29	44.8	27.6	34.5	41.4	17.2	13.8	20.7	6.9	6.9	3.4	13.8	3.4
中部地区	25	28.0	36.0	20.0	24.0	16.0	16.0	4.0	16.0	0.0	8.0	32.0	12.0
西部地区	35	37.1	42.9	31.4	22.9	17.1	8.6	8.6	2.9	11.4	8.6	14.3	2.9

平成30年度

	回答件数 計	割合(%)											
		どこに相談したり、伝えたりしたらいかがわからなかった	めんどうだった	相談などしても、解決すると思えなかった	自分にも責任があると思った	気まずい思いをしたり、もめごとになったりするのが心配だった	周りの人に被害にあったことを知られるのが恥ずかしかった	被害を思い出したくなかった	相談しなくても自力で解決できると思った	相手方から嫌がらせなどを受けるのではないかと不安だった	相談すると経済的に負担がかかると思った	その他	特に理由はない
全体	98	33.7	28.6	32.7	37.8	25.5	12.2	5.1	8.2	8.2	3.1	24.5	5.1
性別													
男性	33	27.3	33.3	30.3	48.5	21.2	12.1	3.0	9.1	9.1	3.0	18.2	6.1
女性	64	37.5	26.6	34.4	32.8	26.6	12.5	6.3	7.8	7.8	3.1	28.1	4.7
年齢別													
20～29歳	9	44.4	77.8	22.2	22.2	11.1	22.2	0.0	11.1	0.0	11.1	33.3	0.0
30～39歳	8	62.5	25.0	25.0	12.5	50.0	12.5	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
40～49歳	17	35.3	5.9	41.2	41.2	11.8	17.6	11.8	5.9	5.9	0.0	17.6	5.9
50～59歳	24	29.2	25.0	25.0	33.3	33.3	4.2	0.0	8.3	8.3	4.2	29.2	12.5
60～64歳	21	19.0	28.6	33.3	47.6	9.5	4.8	4.8	19.0	0.0	0.0	33.3	4.8
65～69歳	9	22.2	33.3	55.6	55.6	33.3	44.4	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0
70～74歳	7	57.1	14.3	28.6	28.6	28.6	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	28.6	0.0
75歳以上	2	50.0	100.0	50.0	100.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
地区別													
東部地区	35	28.6	17.1	34.3	42.9	34.3	11.4	5.7	2.9	2.9	2.9	25.7	2.9
中部地区	21	47.6	33.3	52.4	42.9	28.6	14.3	9.5	14.3	14.3	4.8	14.3	0.0
西部地区	41	31.7	36.6	22.0	31.7	14.6	12.2	2.4	9.8	9.8	2.4	29.3	9.8

(7) (自分か家族が被害を受けなかった場合) 被害にあうことを防げた理由

【問 12-3】

全体では、「テレビや新聞の報道等で問題点について気づいた（知っていた）」（50.0%）が最も割合が高く、次いで「家族や周りの人の助言や協力を受けた」（31.9%）となっている。

前回調査（30年度）と比較すると、「これまで受けてきた教育の中で対応について理解していた」「消費生活に関する啓発講座で対応について学習していた」「県や市町村の相談窓口の助言や協力を受けた」が増加している。

性別では、男女ともに「テレビや新聞の報道等で問題点について気づいた（知っていた）」が最も割合が高い。「家族や周りの人の助言や協力を受けた」では女性が男性を17.3ポイント上回っている。

前回調査（30年度）と比較すると、「テレビや新聞の報道等で問題点について気づいた（知っていた）」が男女ともに増加、「家族や周りの人の助言や協力を受けた」が男性は増加、女性が横ばいである。

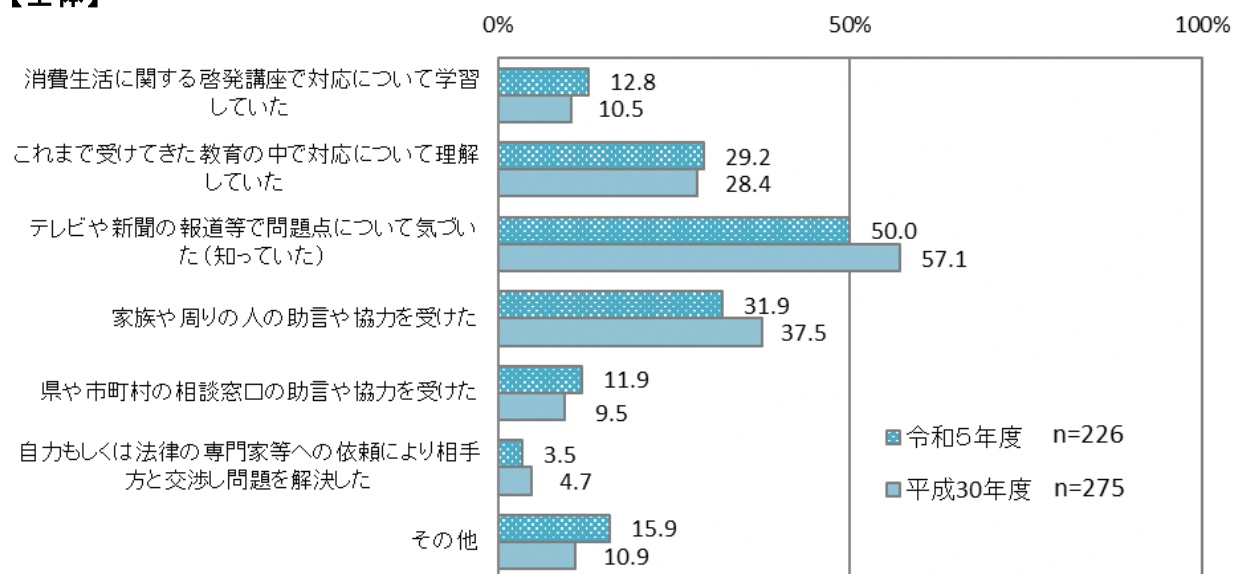
年齢別では、「テレビや新聞の報道等で問題点について気づいた（知っていた）」は40～74歳で、「これまで受けてきた教育の中で対応について理解していた」は20歳代以下で最も高い。

前回調査（30年度）と比較すると、「これまで受けてきた教育の中で対応について理解していた」は30歳代以下で増加している。

地区別では、全ての地区で「テレビや新聞の報道等で問題点について気づいた（知っていた）」が最も割合が高い。

前回調査（30年度）と比較すると、「これまで受けてきた教育の中で対応について理解していた」「消費生活に関する啓発講座で対応について学習していた」は東部地区で増加している。

【全体】



【性別・年齢別・地区別】

令和5年度

	回答件数 計	割合(%)							
		テレビや新聞の報道等で問題点について気づいた(知っていた)	家族や周りの人の助言や協力を受けた	これまで受けてきた教育の中で対応について理解していた	消費生活に関する啓発講座で対応について学習していた	県や市町村の相談窓口の助言や協力を受けた	自力もしくは法律の専門家等への依頼により相手方と交渉し問題を解決した	その他	
全体	226	50.0	31.9	29.2	12.8	11.9	3.5	15.9	
性別	男性	95	45.3	22.1	37.9	15.8	11.6	3.2	10.5
	女性	127	53.5	39.4	22.0	10.2	12.6	3.9	19.7
	その他・回答したくない	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
年齢別	18～19歳	2	50.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	50.0
	20～29歳	12	50.0	33.3	83.3	25.0	0.0	0.0	0.0
	30～39歳	27	44.4	44.4	37.0	7.4	0.0	0.0	18.5
	40～49歳	42	47.6	28.6	28.6	9.5	19.0	7.1	31.0
	50～59歳	49	55.1	32.7	14.3	8.2	12.2	4.1	14.3
	60～64歳	26	46.2	26.9	19.2	11.5	19.2	11.5	11.5
	65～69歳	29	48.3	41.4	34.5	17.2	17.2	0.0	6.9
	70～74歳	36	55.6	22.2	27.8	19.4	8.3	0.0	13.9
75歳以上	3	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	
地区別	東部地区	107	49.5	34.6	31.8	12.1	9.3	3.7	13.1
	中部地区	39	53.8	41.0	23.1	7.7	12.8	2.6	15.4
	西部地区	79	49.4	24.1	27.8	16.5	15.2	3.8	19.0

平成30年度

	回答件数 計	割合(%)							
		テレビや新聞の報道等で問題点について気づいた(知っていた)	家族や周りの人の助言や協力を受けた	これまで受けてきた教育の中で対応について理解していた	消費生活に関する啓発講座で対応について学習していた	県や市町村の相談窓口の助言や協力を受けた	自力もしくは法律の専門家等への依頼により相手方と交渉し問題を解決した	その他	
全体	275	57.1	37.5	28.4	10.5	9.5	4.7	10.9	
性別	男性	109	57.8	31.2	31.2	14.7	7.3	5.5	7.3
	女性	162	55.6	42.0	27.2	8.0	11.1	4.3	13.6
年齢別	20～29歳	20	40.0	35.0	50.0	10.0	0.0	10.0	20.0
	30～39歳	35	54.3	60.0	17.1	5.7	5.7	0.0	14.3
	40～49歳	42	54.8	35.7	26.2	9.5	16.7	7.1	9.5
	50～59歳	47	68.1	40.4	23.4	8.5	10.6	2.1	10.6
	60～64歳	46	52.2	26.1	37.0	6.5	6.5	6.5	8.7
	65～69歳	42	59.5	26.2	31.0	14.3	9.5	4.8	14.3
	70～74歳	37	59.5	43.2	24.3	18.9	8.1	5.4	5.4
	75歳以上	4	50.0	25.0	25.0	25.0	50.0	0.0	0.0
地区別	東部地区	101	54.5	33.7	28.7	7.9	9.9	3.0	9.9
	中部地区	61	59.0	47.5	24.6	13.1	11.5	3.3	13.1
	西部地区	111	57.7	35.1	30.6	11.7	8.1	7.2	10.8

(8)消費者被害にあったとき「安心して相談できるところ」

【問 13-1】

全体では、「家族・親族」(53.4%)が最も割合が高く、次いで「市町村の消費生活センター(相談窓口又は消費者ホットライン188)」(43.6%)となっている。

前回調査(30年度)と比較すると、「家族・親族」「国民生活センター」「メーカー等の事業者」が特に増加している。

性別では、男女ともに「家族・親族」「市町村の消費生活センター(相談窓口又は消費者ホットライン188)」が4割以上と高い。

前回調査(30年度)と比較すると、「家族・親族」は男性が増加、「国民生活センター」「メーカー等の事業者」は男女ともに増加している。

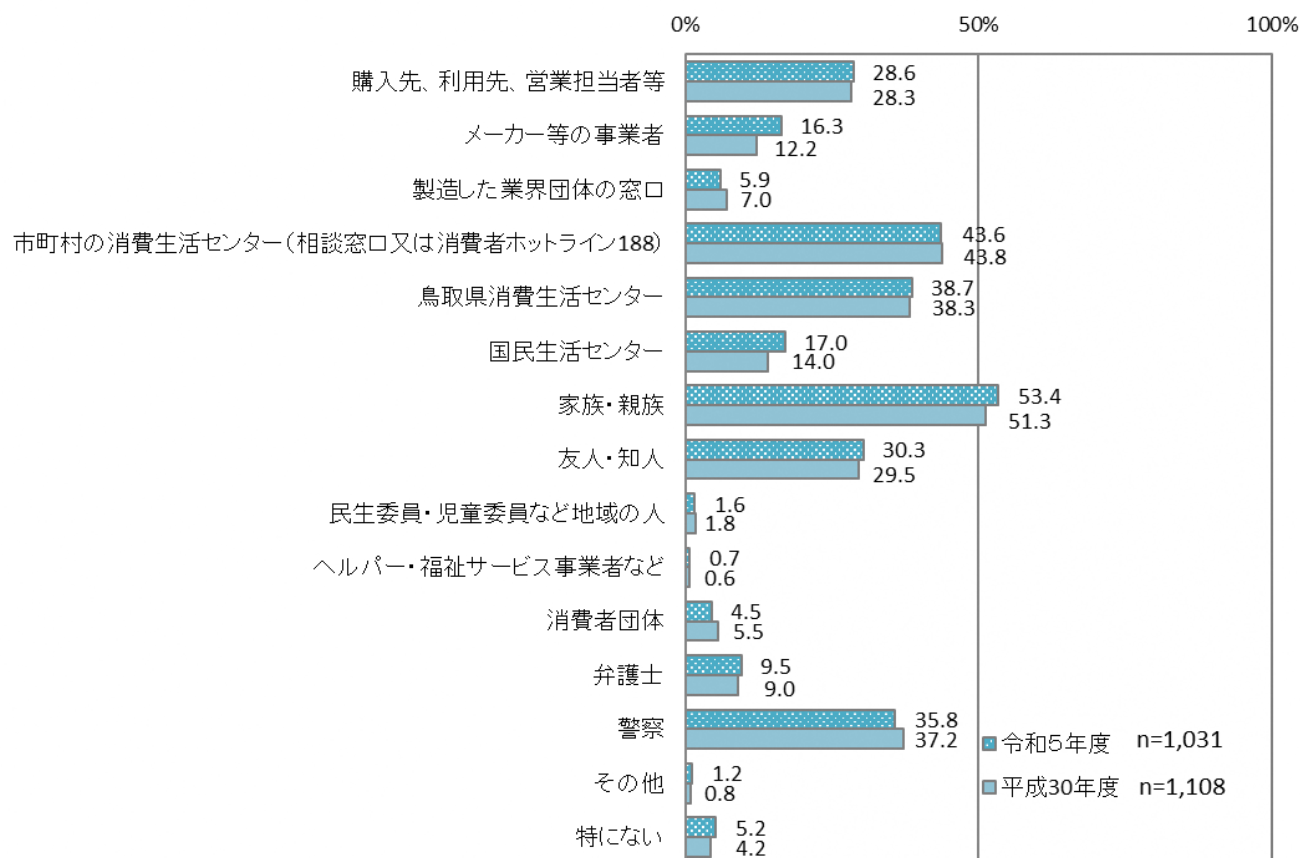
年齢別では、「家族・親族」は20歳代以下が7割以上で最も高く、「市町村の消費生活センター(相談窓口又は消費者ホットライン188)」では65歳以上が最も割合が高い。

前回調査(30年度)と比較すると、「家族・親族」は40歳代、65~69歳、75歳以上で増加している。

地区別では、「市町村の消費生活センター(相談窓口又は消費者ホットライン188)」は西部地区で、「鳥取県消費生活センター」は東部地区で最も高い。

前回調査(30年度)と比較すると、「市町村の消費生活センター(相談窓口又は消費者ホットライン188)」は西部地区で減少している。

【全体】



【性別・年齢別・地区別】

令和5年度

	回答件数 計	割合(%)														
		家族・親族	市町村の消費生活センター(相談窓口又は消費者ホットライン188)	鳥取県消費生活センター	警察	友人・知人	購入先、利用先、営業担当者等	国民生活センター	メーカー等の事業者	弁護士	製造した業界団体の窓口	消費者団体	民生委員・児童委員など地域の人	ヘルパー・福祉サービス事業者など	その他	特になし
全体	1,031	53.4	43.6	38.7	35.8	30.3	28.6	17.0	16.3	9.5	5.9	4.5	1.6	0.7	1.2	5.2
性別																
男性	444	45.9	41.4	39.0	37.6	28.6	29.5	18.0	18.2	11.9	7.2	4.5	2.0	0.9	1.6	5.6
女性	553	59.7	46.3	39.8	34.4	31.1	28.0	16.8	14.3	8.0	4.5	4.3	1.4	0.4	0.9	4.5
その他・回答したくない	12	66.7	33.3	41.7	25.0	41.7	41.7	16.7	16.7	8.3	8.3	8.3	0.0	8.3	0.0	8.3
年齢別																
18～19歳	18	72.2	5.6	16.7	27.8	44.4	11.1	11.1	0.0	5.6	0.0	5.6	0.0	0.0	0.0	16.7
20～29歳	86	72.1	36.0	24.4	33.7	50.0	31.4	15.1	20.9	14.0	5.8	7.0	0.0	0.0	2.3	4.7
30～39歳	124	59.9	32.3	25.8	37.1	34.7	33.1	22.6	22.6	8.1	4.0	4.0	0.8	0.8	0.0	8.9
40～49歳	156	57.7	42.3	42.3	30.1	30.1	30.1	20.5	21.2	12.8	9.0	5.8	1.3	1.3	0.6	6.4
50～59歳	192	57.3	44.8	43.2	33.9	32.3	30.2	18.2	13.0	11.5	4.7	4.2	0.0	0.5	1.0	2.1
60～64歳	114	49.1	43.0	46.5	28.9	28.1	25.4	16.7	13.2	7.0	5.3	3.5	1.8	0.0	2.6	6.1
65～69歳	127	44.9	54.3	48.8	37.0	22.0	29.1	14.2	13.4	6.3	7.1	3.1	3.1	1.6	2.4	2.4
70～74歳	158	43.0	52.5	39.2	46.2	24.1	25.9	15.2	16.5	8.2	5.7	3.2	3.2	0.6	0.6	3.8
75歳以上	55	40.0	45.5	30.9	41.8	18.2	23.6	7.3	9.1	7.3	7.3	7.3	5.5	0.0	0.0	10.9
地区別																
東部地区	426	52.3	40.6	42.0	33.3	28.9	28.6	17.4	15.3	9.9	4.9	3.5	1.4	0.9	0.7	4.9
中部地区	180	50.6	41.7	33.9	39.4	31.1	28.3	13.9	16.7	7.8	8.3	5.0	1.1	0.6	2.8	7.8
西部地区	423	56.0	47.5	37.4	36.4	31.2	28.8	17.7	17.0	9.7	5.7	5.0	2.1	0.5	0.9	4.5

平成30年度

	回答件数 計	割合(%)														
		家族・親族	市町村の消費生活センター・相談窓口	鳥取県消費生活センター	警察	友人・知人	購入先、利用先、営業担当者等	国民生活センター	メーカー等の事業者	弁護士	製造した業界団体の窓口	消費者団体	民生委員・児童委員など地域の人	ヘルパー・福祉サービス事業者など	その他	特になし
全体	1,108	51.3	43.8	38.3	37.2	29.5	28.3	14.0	12.2	9.0	7.0	5.5	1.8	0.6	0.8	4.2
性別																
男性	452	36.3	41.4	37.8	37.2	26.5	30.5	13.1	14.4	11.7	8.4	6.6	2.2	0.2	0.9	5.8
女性	639	62.3	45.7	38.5	37.2	32.1	26.9	14.7	10.6	7.2	6.1	4.9	1.6	0.6	0.8	3.3
年齢別																
20～29歳	103	69.9	32.0	24.3	27.2	49.5	35.0	15.5	12.6	8.7	11.7	4.9	0.0	0.0	0.0	6.8
30～39歳	124	63.7	32.3	26.6	33.1	31.5	35.5	15.3	17.7	8.9	8.9	1.6	0.0	0.0	0.8	4.8
40～49歳	149	53.7	33.9	35.6	28.9	36.9	27.5	19.5	16.1	11.4	8.7	4.0	0.7	0.0	0.7	7.4
50～59歳	169	54.4	36.7	46.7	33.7	35.5	24.3	15.4	11.2	10.1	6.5	3.0	1.8	1.8	1.8	4.7
60～64歳	165	46.7	46.7	47.9	43.6	18.8	27.3	13.3	9.7	9.1	6.1	10.9	1.8	0.0	0.6	3.6
65～69歳	199	39.7	58.2	44.4	40.2	22.8	31.7	11.1	14.3	9.0	7.4	5.8	2.1	0.5	1.1	3.7
70～74歳	172	45.9	50.6	32.0	45.3	23.3	21.5	9.9	7.0	6.4	3.5	7.0	5.2	0.0	0.6	0.6
75歳以上	31	35.5	54.8	41.9	45.2	22.6	29.0	16.1	6.5	9.7	0.0	6.5	0.0	3.2	0.0	3.2
地区別																
東部地区	397	51.1	38.3	39.5	35.8	28.5	27.2	14.1	11.8	9.1	7.6	5.0	1.0	0.0	1.3	4.3
中部地区	218	50.9	39.9	41.3	40.8	33.0	34.9	13.3	13.3	11.0	9.2	7.3	1.4	0.9	0.9	3.7
西部地区	496	51.6	50.4	35.8	36.6	29.0	26.5	14.4	12.1	8.2	5.6	5.1	2.7	0.6	0.4	4.3